

第6回川崎市地域福祉実態調査（令和4年度調査）

結果概要

幸区版

目次

調査の結果	- 1 -
■ 調査の目的	- 1 -
■ 調査の設計	- 1 -
■ 概要を利用するにあたって	- 1 -
1. 回答者の基本属性	- 3 -
2. 『川崎市地域福祉計画』について	- 9 -
3. 居住地域について	- 10 -
4. 地域活動やボランティア活動について	- 24 -
5. 保健・福祉に関することについて	- 29 -
6. 防災に対する意識と備えについて	- 32 -
7. 今後の地域福祉の推進について	- 37 -
8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます	- 42 -
資料 アンケート調査票	- 61 -

調査の結果

■ 調査の目的

本調査は、市民の地域福祉に関する意識を多面的に調査することにより、地域における生活課題を明らかにし、『第7期川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

■ 調査の設計

【調査対象者】

市内在住の18歳以上の男女（外国人を含む）各区1,000人、全市合計7,000人

【調査時期】

令和4年11月～令和4年12月

【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

【調査内容】

- ・基本属性
- ・『川崎市地域福祉計画』について
- ・居住地域について
- ・地域活動やボランティア活動について
- ・保健・福祉に関することについて
- ・防災に対する意識と備えについて
- ・今後の地域福祉の推進について

■ 概要を利用するにあたって

- (1) 図中のnとは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- (3) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。

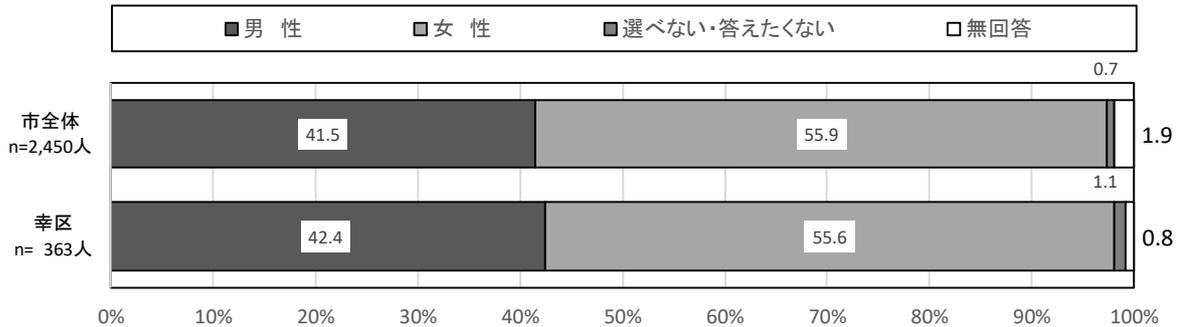
【回収率】

区名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	不明	全市
配布数（人）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	7,000
有効回収数（人）	303	363	346	341	359	332	371	35	2,450
有効回収率	30.3%	36.3%	34.6%	34.1%	35.9%	33.2%	37.1%	-	35.0%
（参考） 第5回回収率	30.9%	33.9%	35.0%	32.6%	35.9%	35.0%	40.9%	-	35.3%

1. 回答者の基本属性

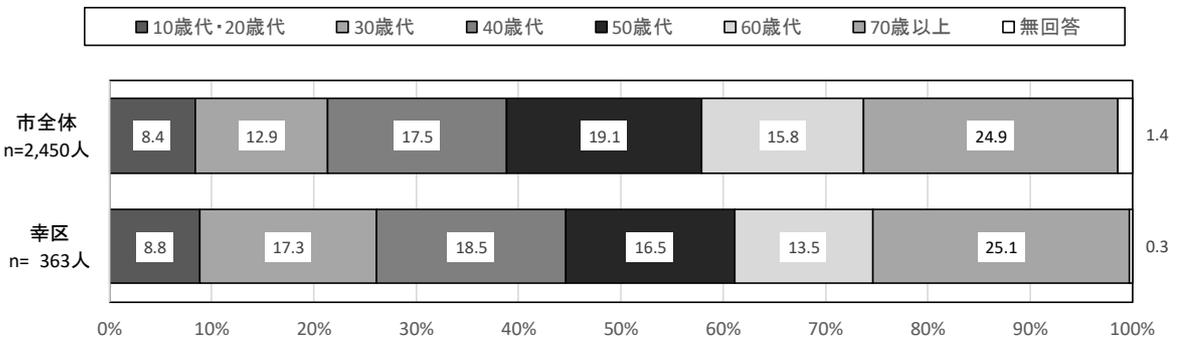
問1 性別を教えてください。(1つに○)

幸区では、男性が42.4%、女性が55.6%となっている。



問2 年齢は満何歳ですか。(○は1つだけ)

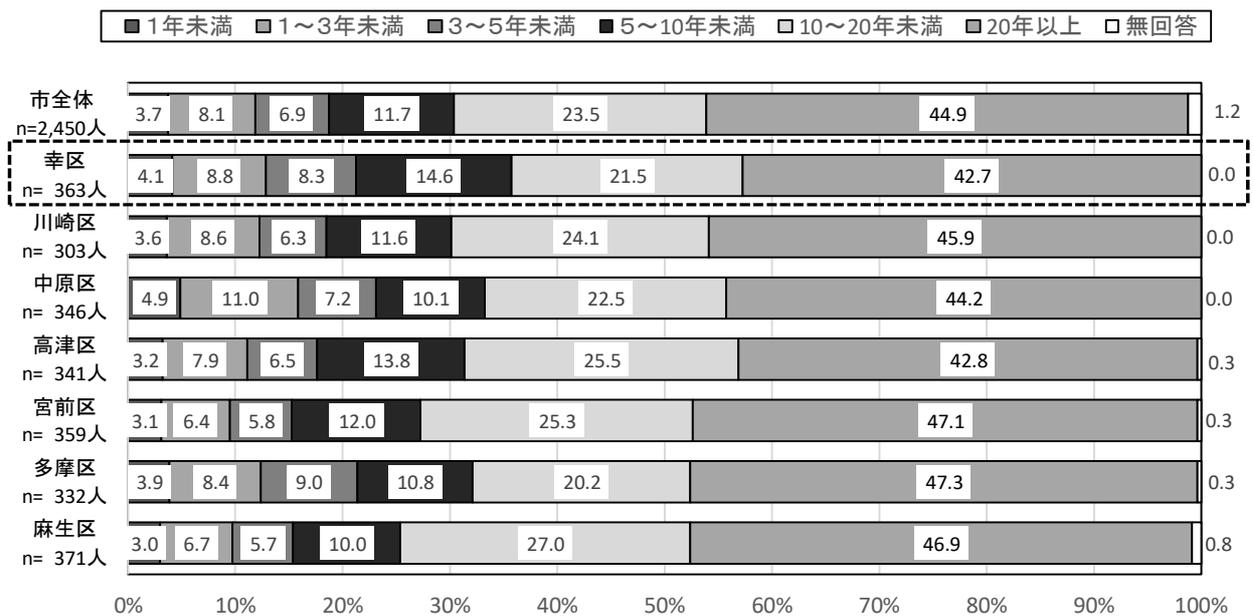
幸区では、70歳以上が25.1%で最も高く、次いで40歳代(18.5%)、30歳代(17.3%)となっている。



※問3・問4については、地区を記載する設問のため、地区版では省略します。

問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(○は1つだけ)

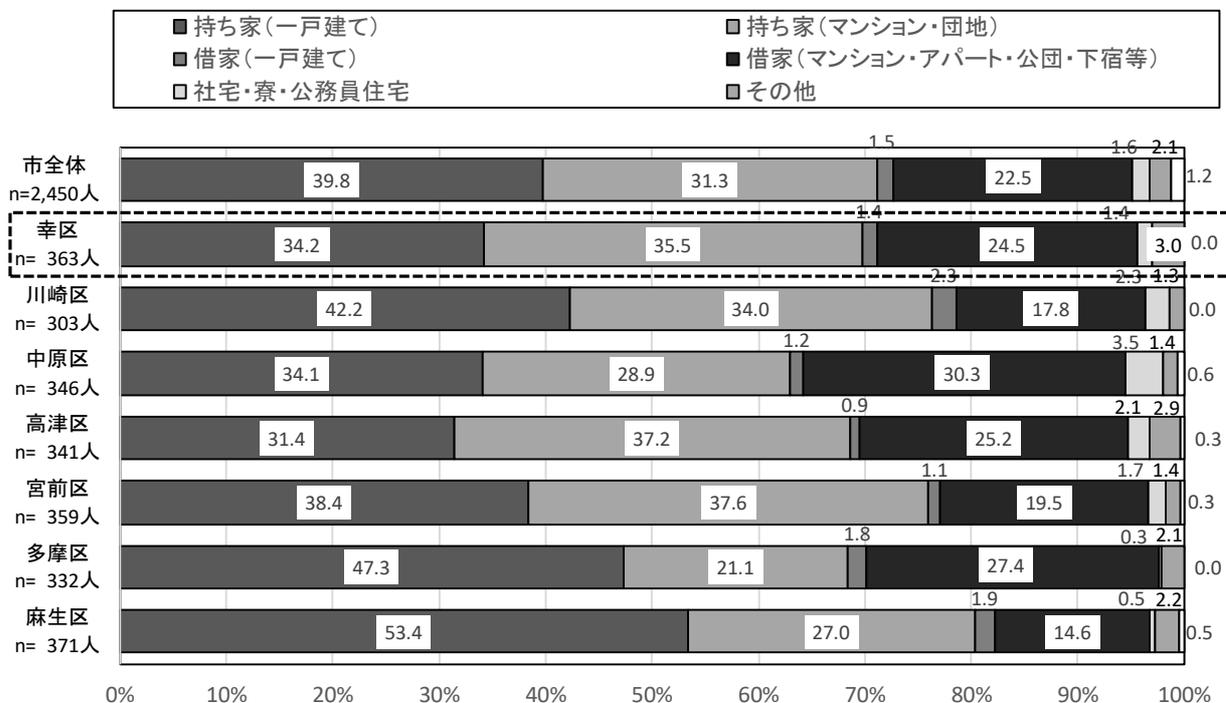
幸区では、20年以上が42.7%で最も高く、次いで10~20年未満(21.5%)、5~10年未満(14.6%)となっている。市内6区と比較すると、20年以上の割合が42.7%で、最も低くなっている。



問6 現在のお住まいの形態を教えてください。(○は1つだけ)

幸区では、持ち家(マンション・団地)の割合が35.5%で最も高く、次いで、持ち家(一戸建て)(34.2%)、借家(マンション・アパート・公団・下宿等)(24.5%)となっている。

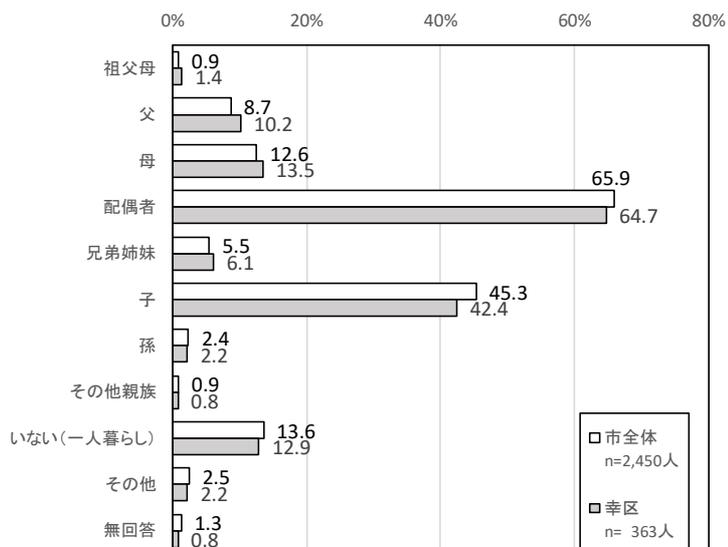
また、持ち家(一戸建て)と持ち家(マンション・団地)を合わせた持ち家の割合が69.7%である。



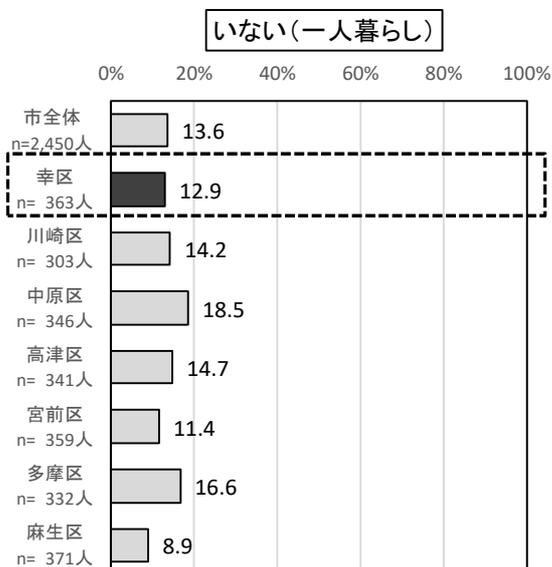
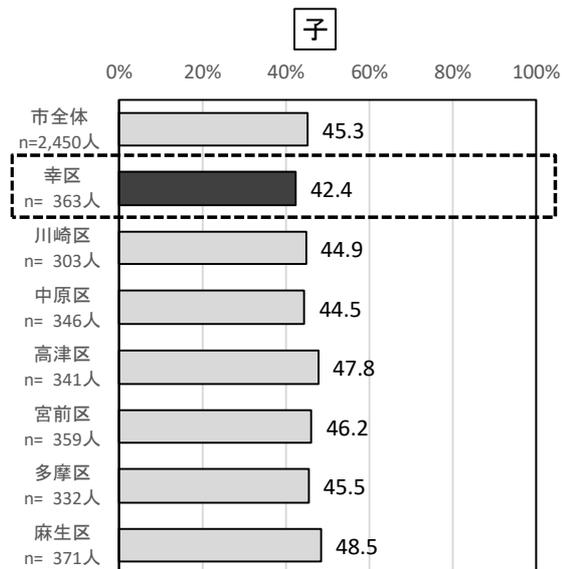
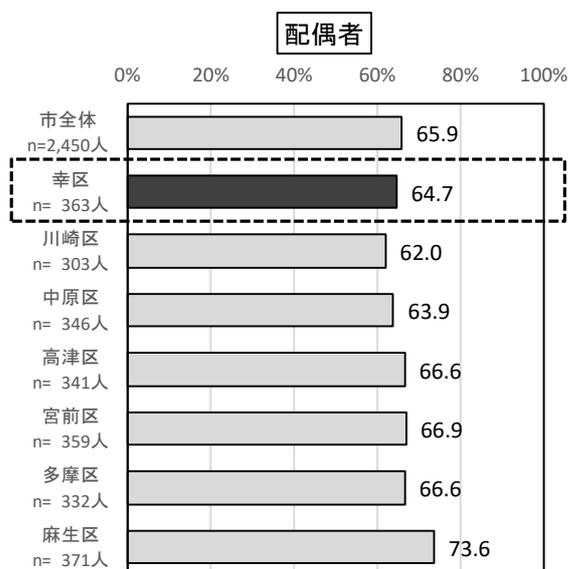
問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

幸区では、「配偶者」が64.7%で最も高く、次いで、「子」が42.4%、「母」が13.5%となっている。

市内6区と比較すると、「子」が42.4%で最も低く、「いない(一人暮らし)」が12.9%で3番目に低い。

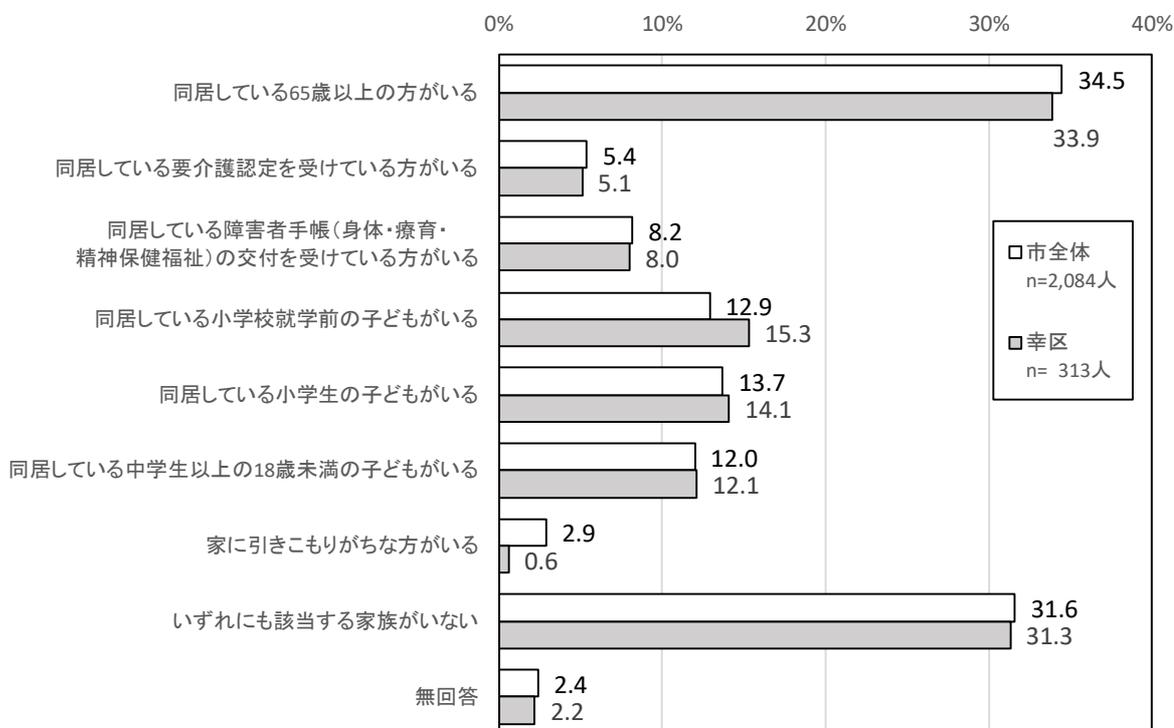


【参考】

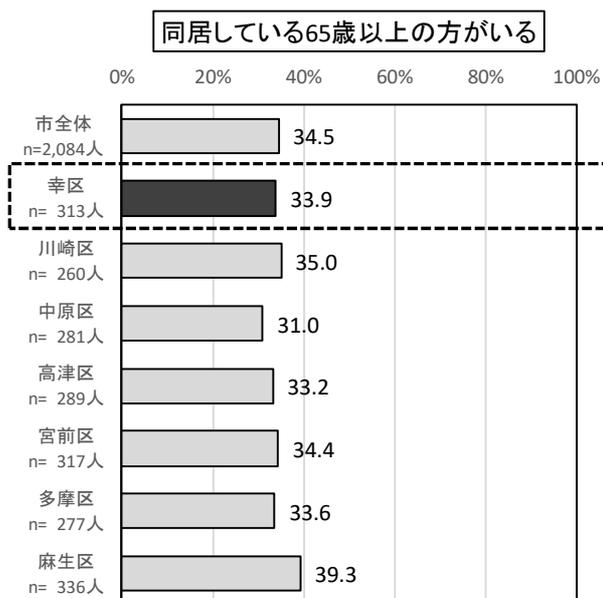


問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「家族の中に65歳以上の方がいる」が33.9%で市全体（34.5%）より低くなっている。



【参考】

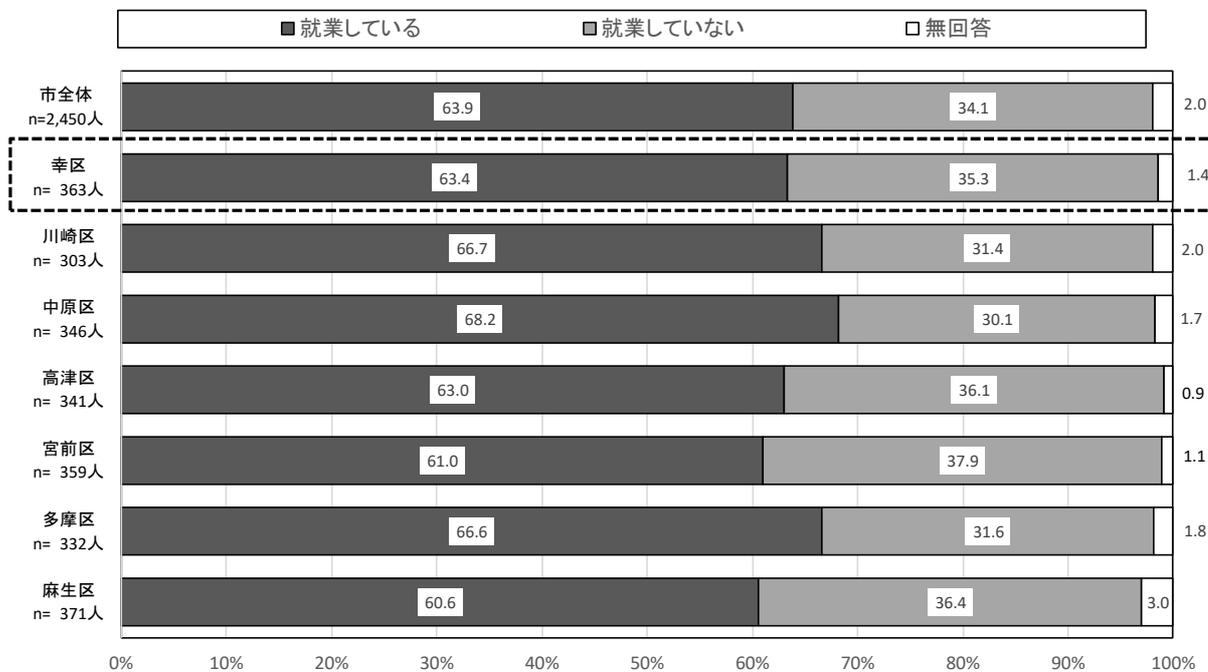


問9 就業の状況はどれに該当しますか。(○は1つだけ)

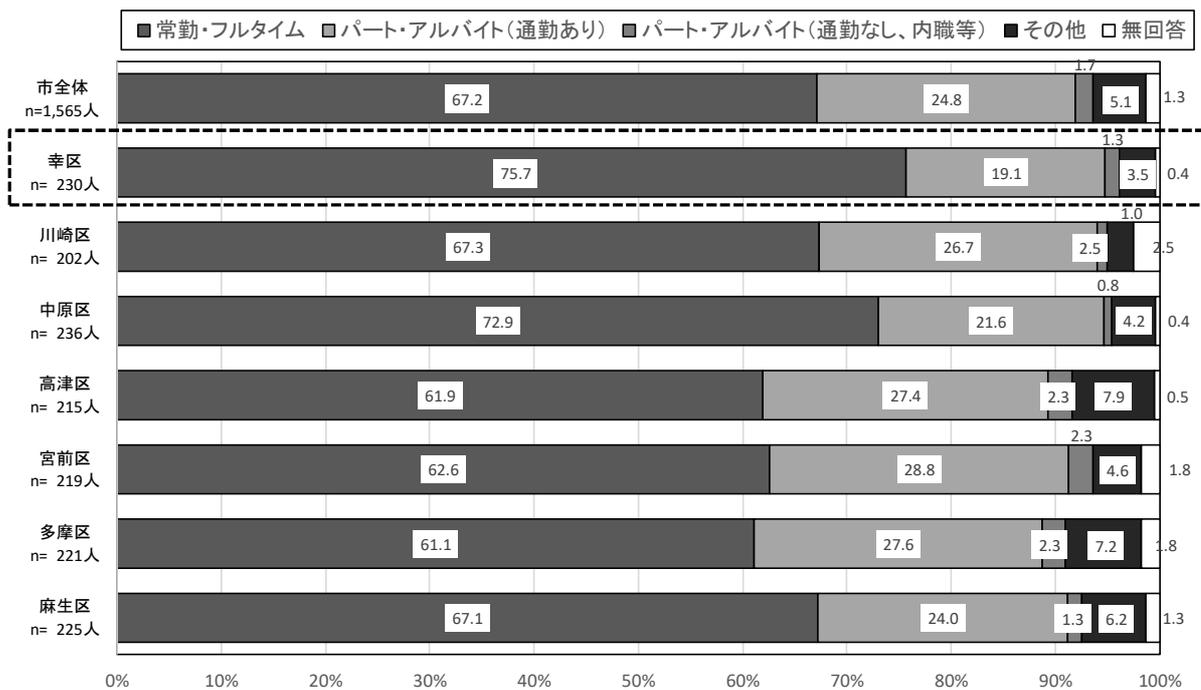
幸区では、就業している割合が63.4%で市全体(63.9%)と同程度となっている。

就業形態については、常勤・フルタイムが75.7%で市全体(67.2%)を上回っている。市内6区と比較すると、常勤・フルタイムの割合は最も高くなっている。

ア. 就業状況



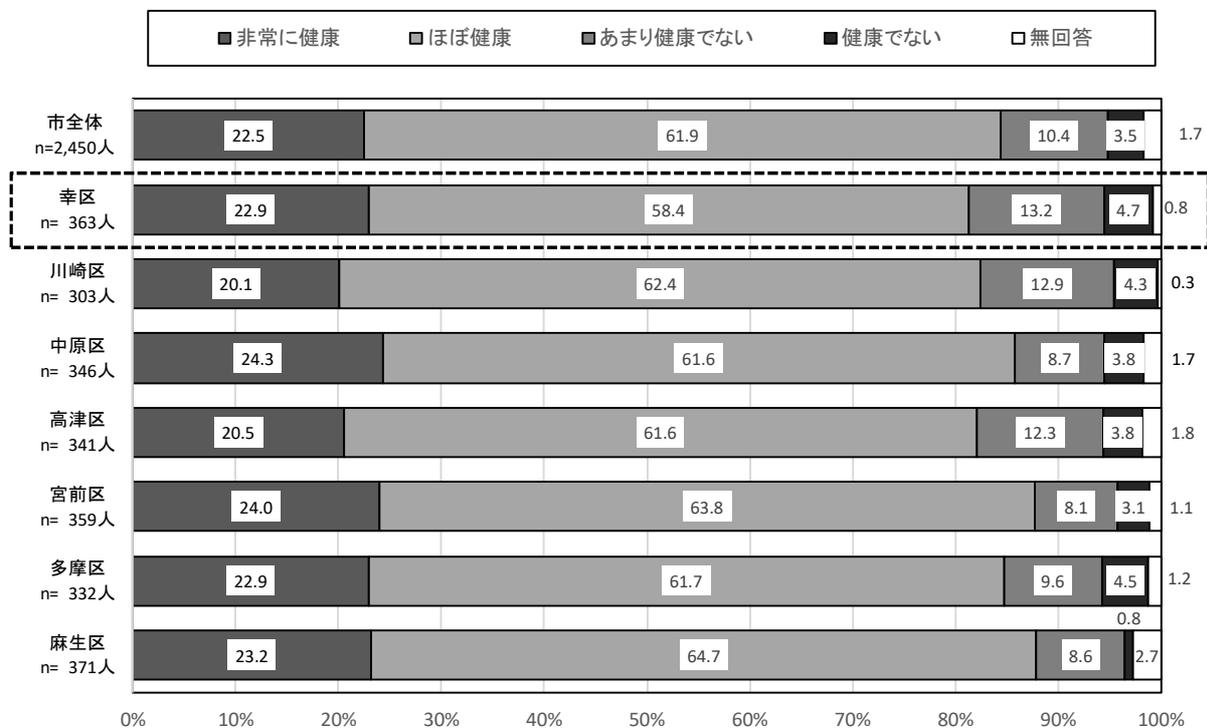
イ. 就業形態



問 10 あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

幸区では、健康状態が「ほぼ健康」の方の割合が58.4%で市全体(61.9%)を下回っている。

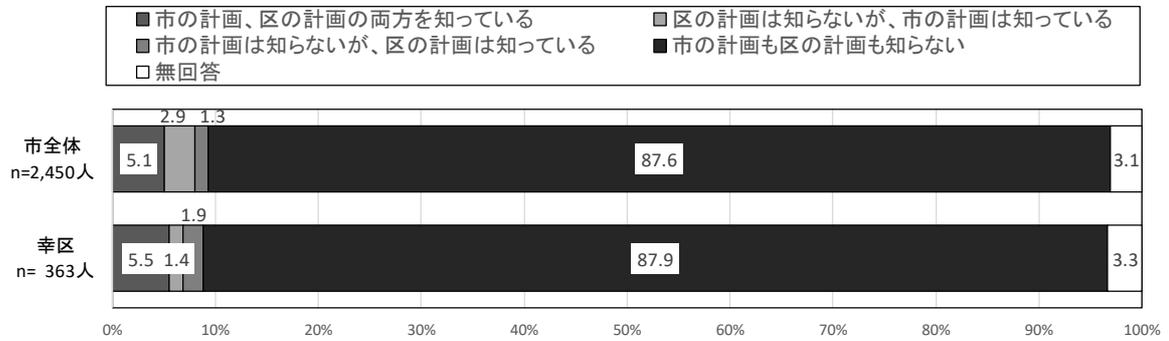
市内6区と比較すると、「ほぼ健康」(58.4%)、「非常に健康」(22.9%)を合わせた割合が81.3%と最も低くなっている。



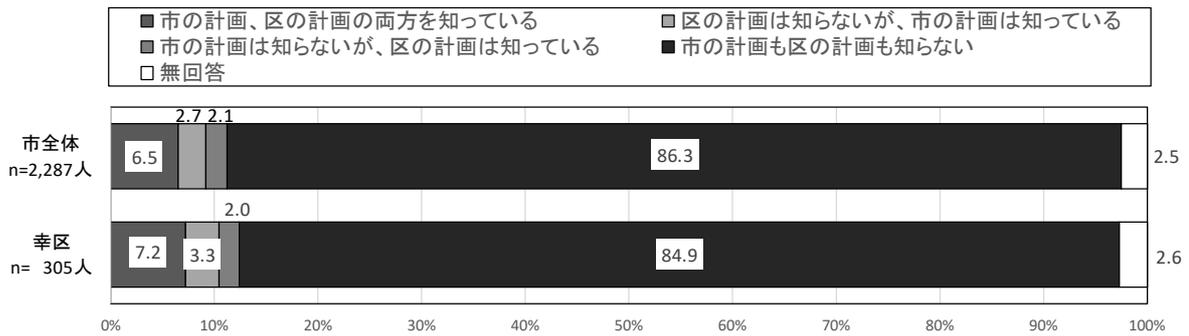
2. 『川崎市地域福祉計画』について

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。(〇は1つだけ)

幸区では、「両方知らない」割合が87.9%となっている。第5回調査結果と比較すると、「両方知らない」割合は、3.0ポイント増加している。



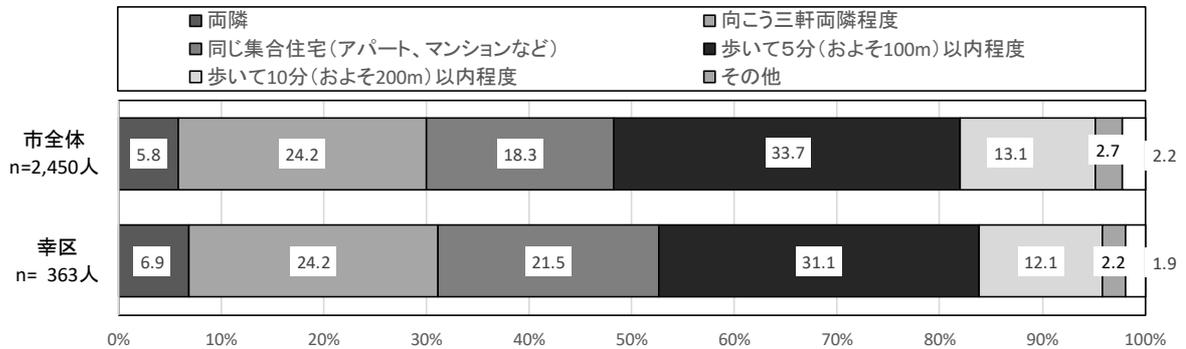
【参考】第5回調査結果



3. 居住地域について

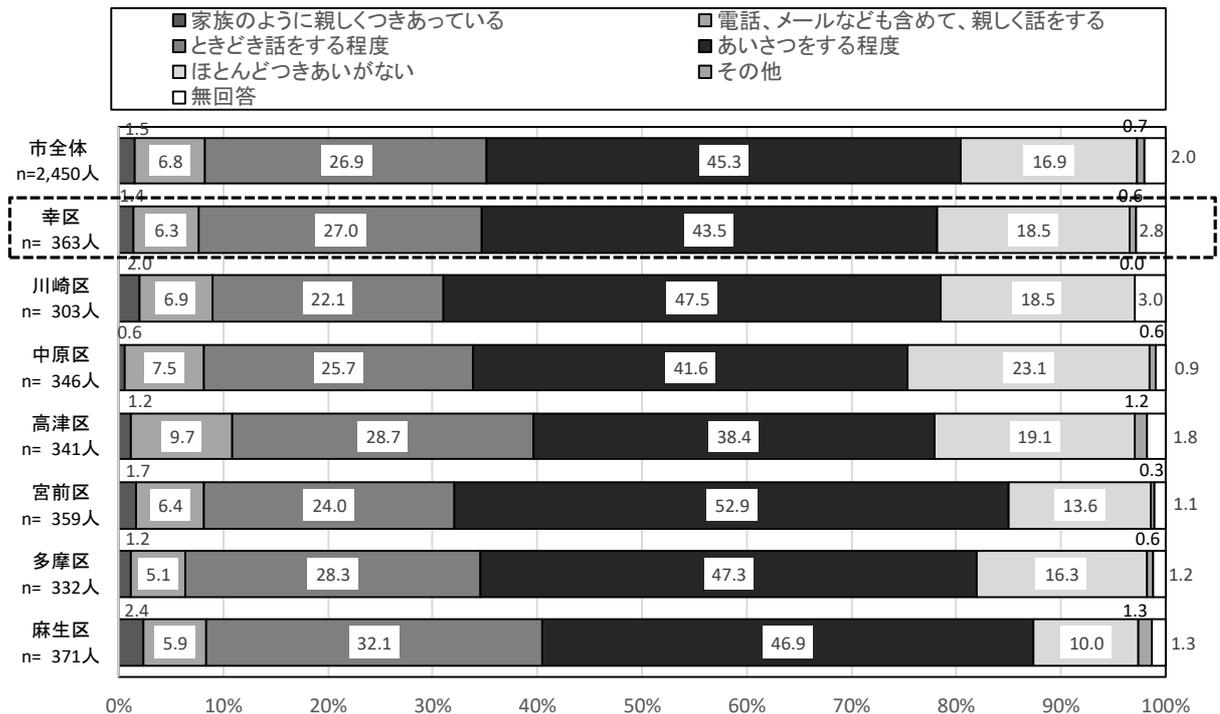
問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(〇は1つだけ)

幸区では、「向こう三軒両隣」の割合が24.2%で市全体(24.2%)と同じ値になっている。



問 14 あなたは、ふだんご近所の方との程度のつきあいをしていますか。(〇は1つだけ)

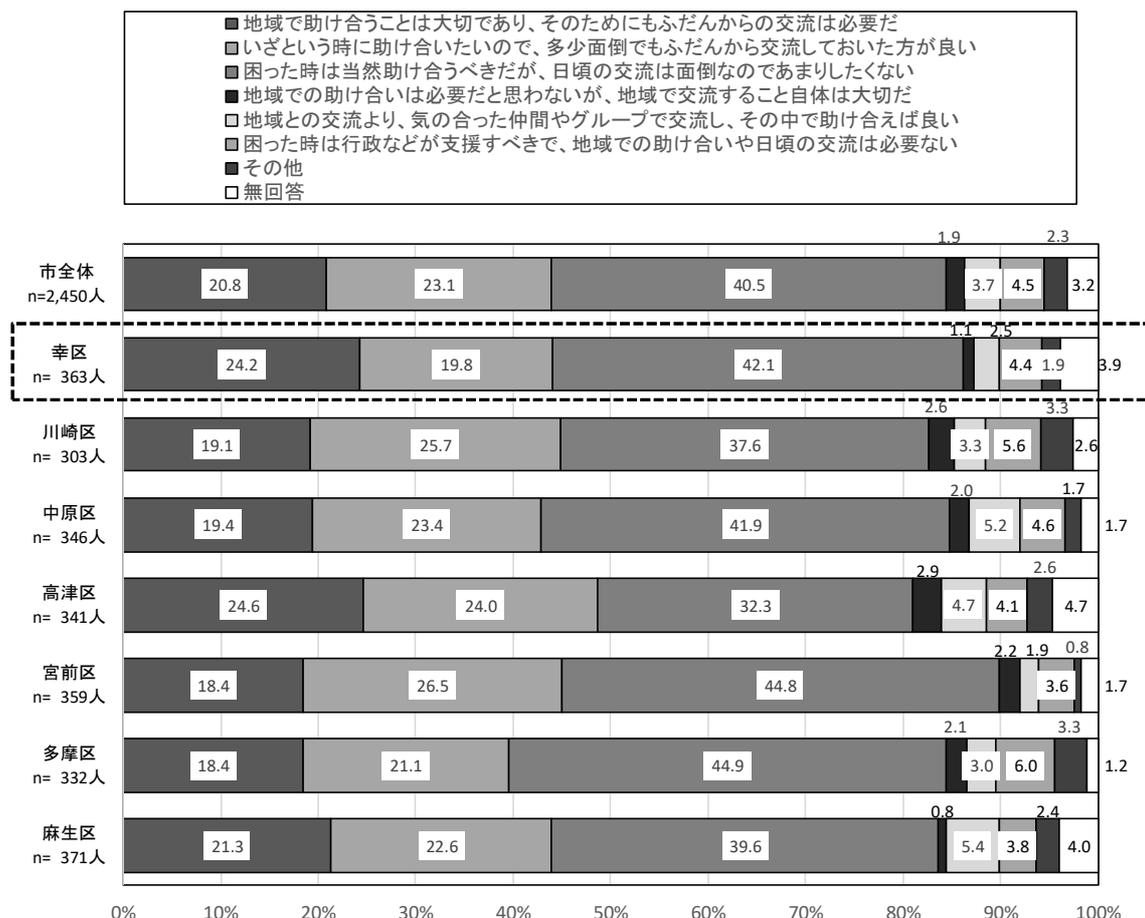
幸区では、「ときどき話をする程度」の割合が27.0%で市全体(26.9%)とほぼ同程度となっている。



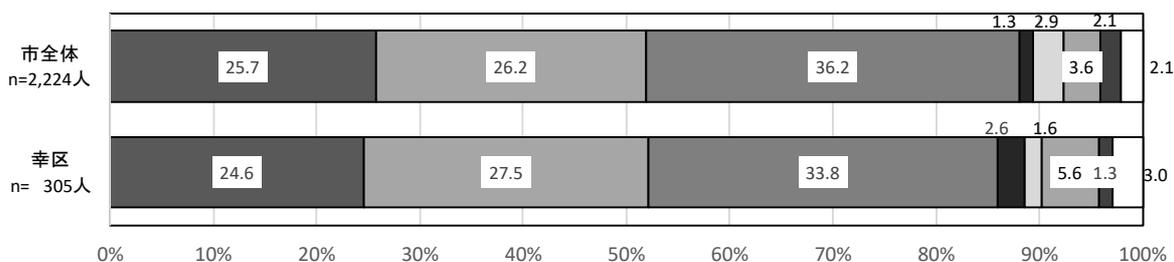
問 15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。
(○は1つだけ)

幸区では、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」の割合が19.8%で市全体(23.1%)を下回っている。市内6区と比較すると、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」の割合は24.2%で、市内で2番目に高くなっている。

また、第5回調査結果と比較すると、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」の割合が0.4ポイント減少し、「困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が8.3ポイント増加している。

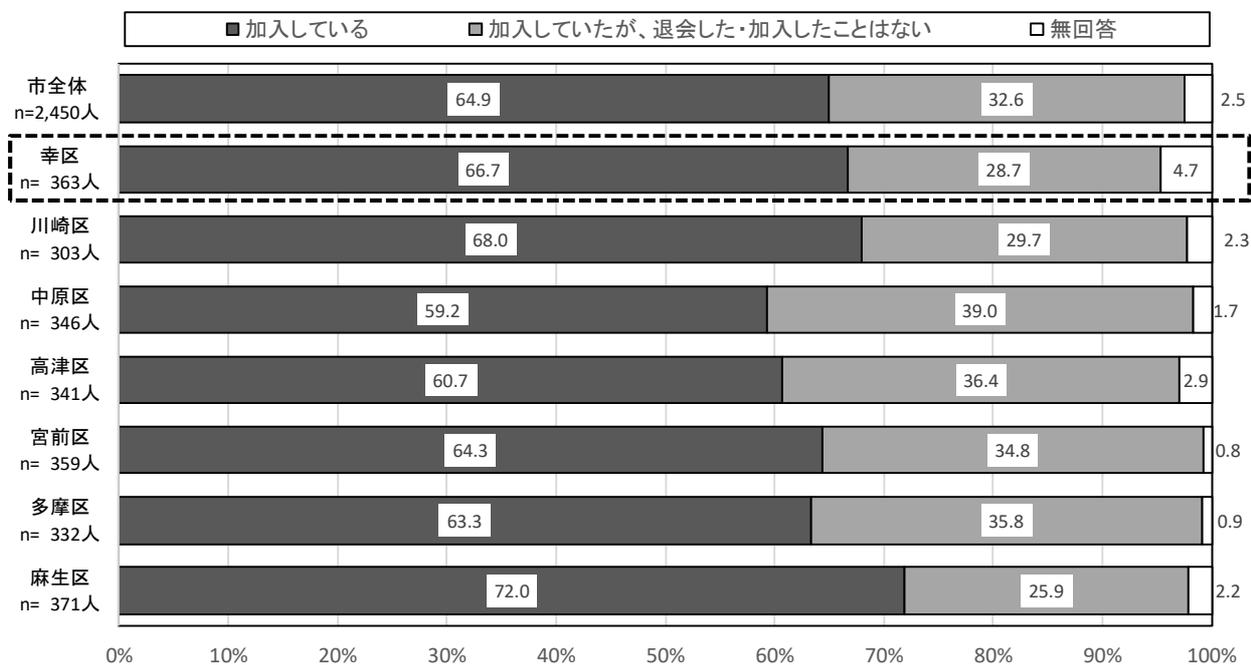


【参考】第5回調査結果



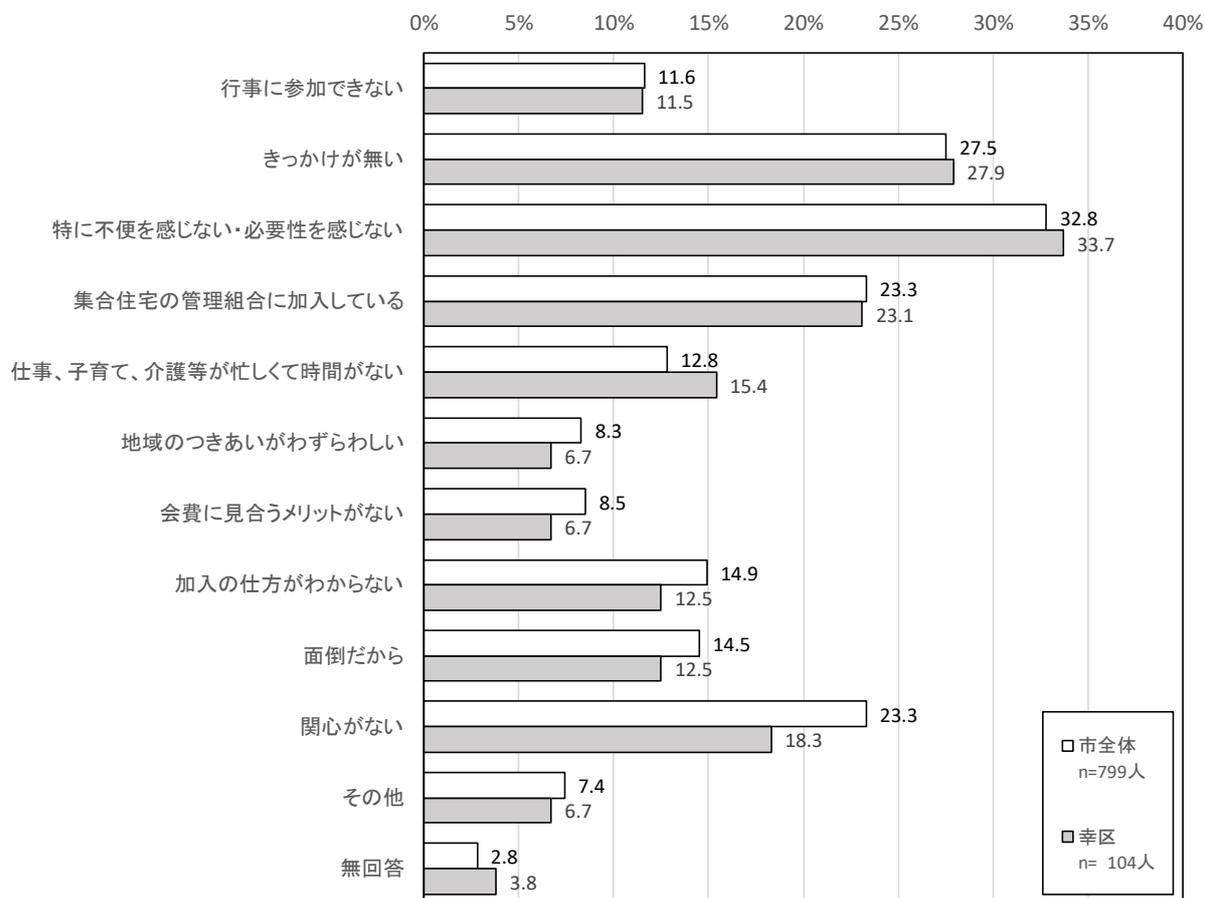
問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

幸区では、「加入している」割合が66.7%で市全体(64.9%)を上回っている。市内6区と比較すると、「加入している」割合は3番目に高くなっている。



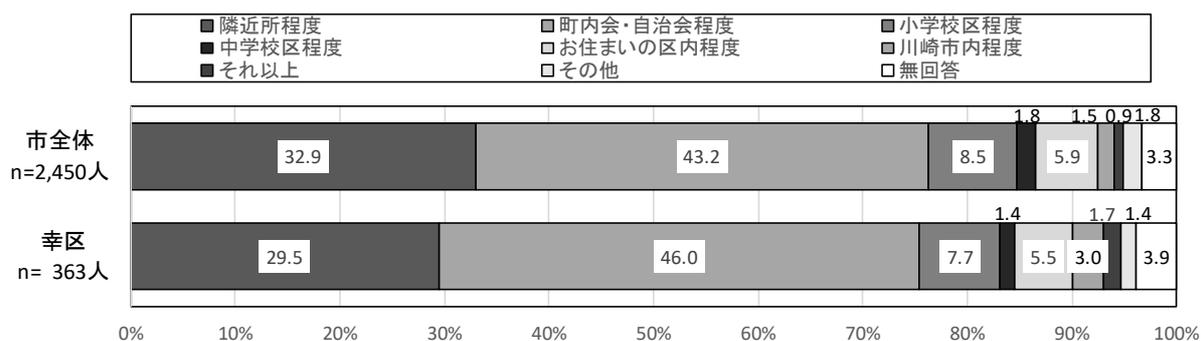
問 16 - 1 《問 16 で「加入していたが、退会した・加入したことはない」とお答えの方》現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「特に不便を感じない・必要性を感じない」の割合が 33.7%で最も高く、市全体(32.8%)を上回っている。



問 17 あなたは、助け合いをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

幸区では、「町内会・自治会程度」の割合が 46.0%で最も高く、市全体（43.2%）を上回っている。

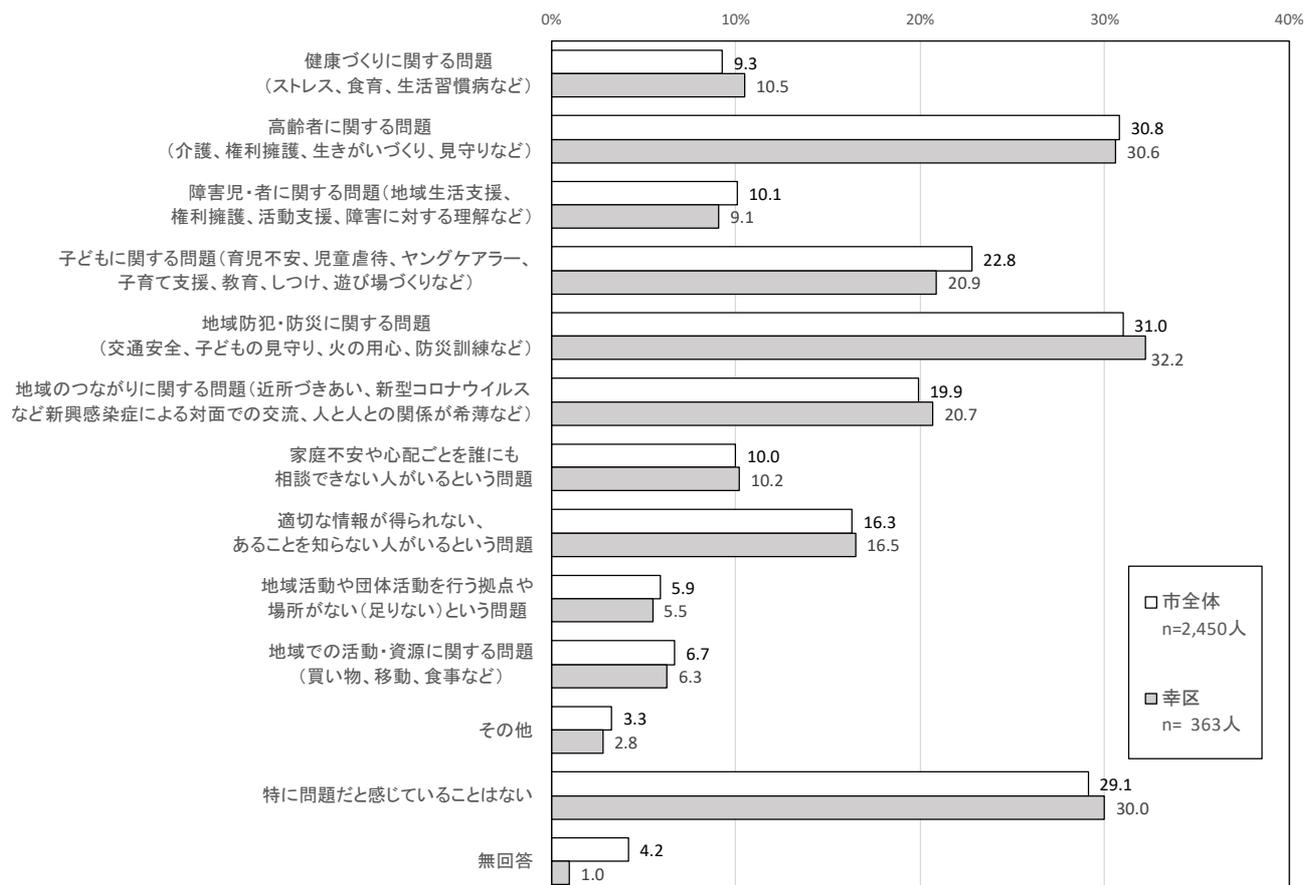


問 18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。

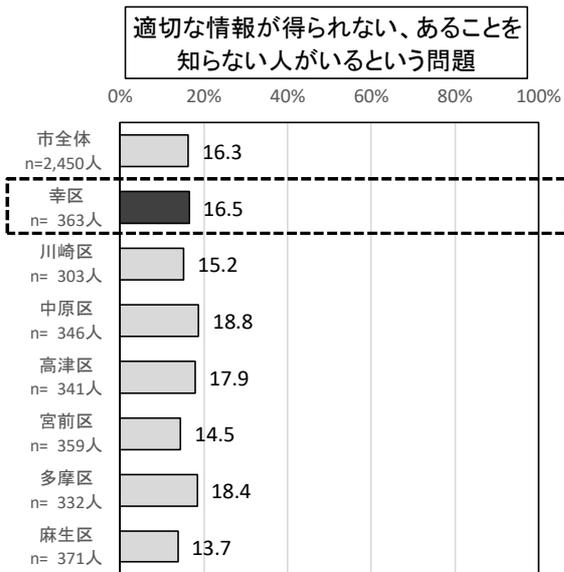
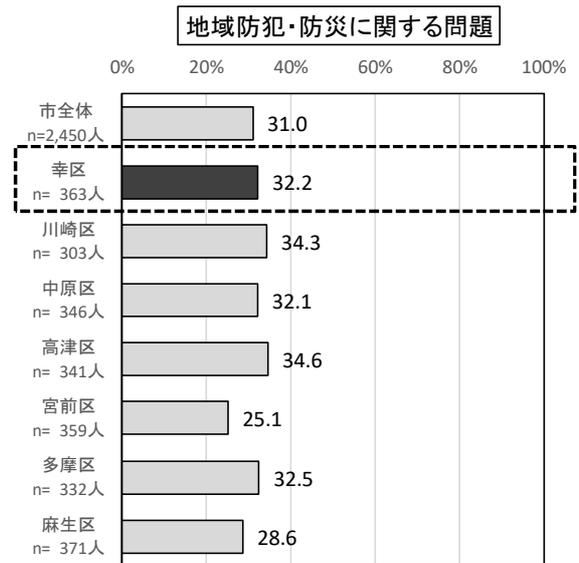
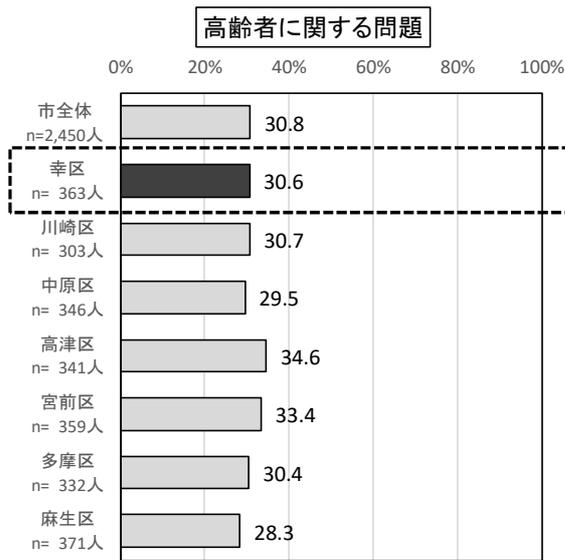
(あてはまるものすべてに○)

幸区では、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」の割合が32.2%で最も高く、次いで「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど）」（30.6%）、「特に問題だと感じていることはない」（30.0%）となっている。

市内6区と比較すると、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど）」（30.6%）、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」（32.2%）、「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題」（16.5%）はいずれも4番目に高い。



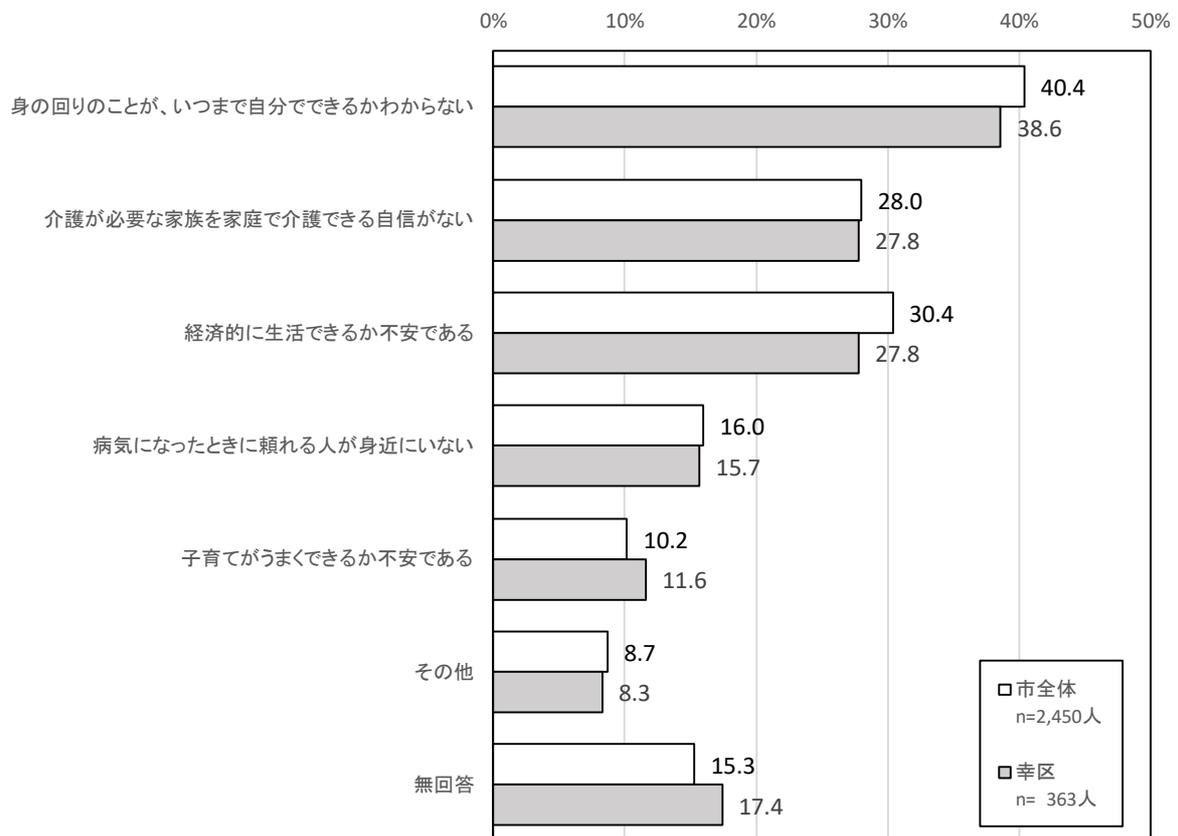
【参考】



問 19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

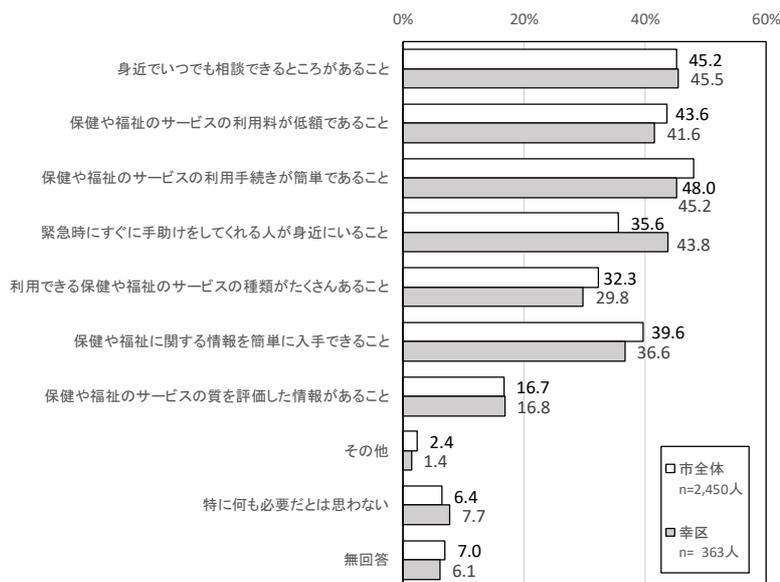
幸区では、「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」の割合が38.6%で最も高く、次いで「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」、「経済的に生活できるか不安である」がともに27.8%となっている。



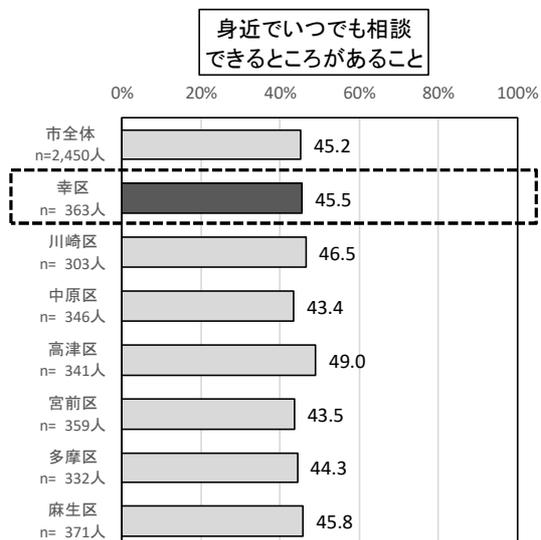
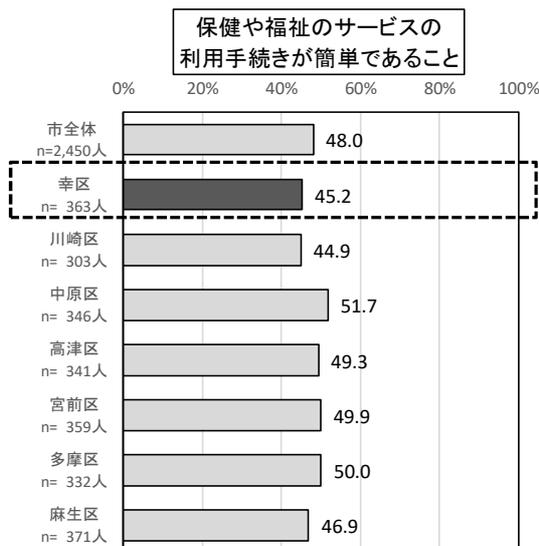
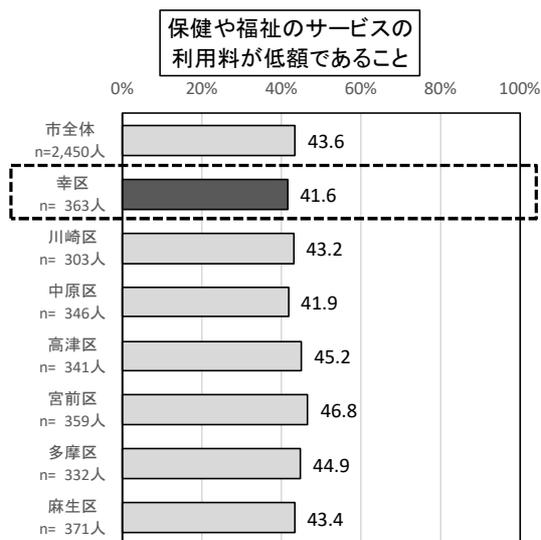
問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

幸区では、「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」が45.2%で市全体(48.0%)を下回っている。

市内6区と比較すると、「保健や福祉のサービスの利用料が低額であること」は41.6%と最も低く、「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」は45.2%と2番目に低い。また、「身近でいつでも相談できるところ」は45.5%と4番目に高くなっている。



【参考】

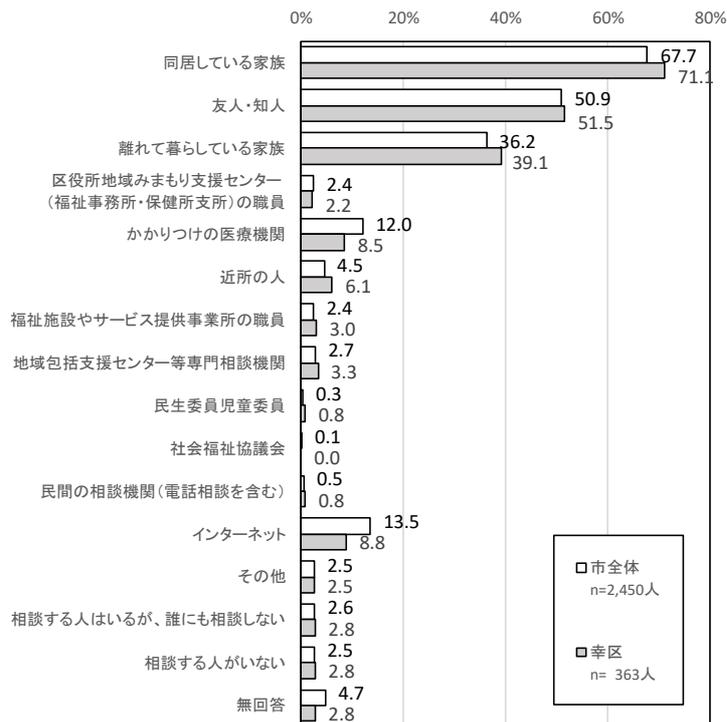


問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

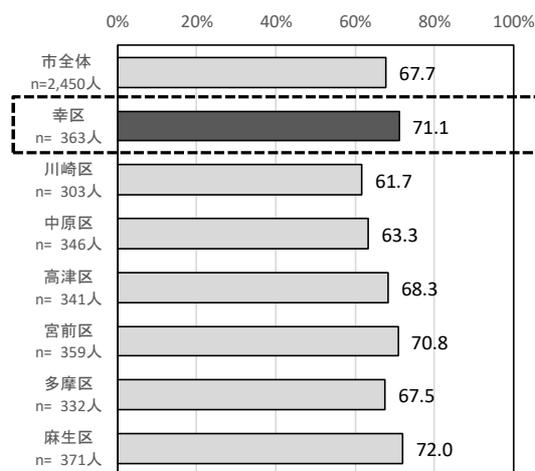
幸区では、「同居している家族」が71.1%で市全体(67.7%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「同居している家族」が71.1%と2番目に高くなっている。また、「離れて暮らしている家族」が39.1%で2番目に高くなっている。

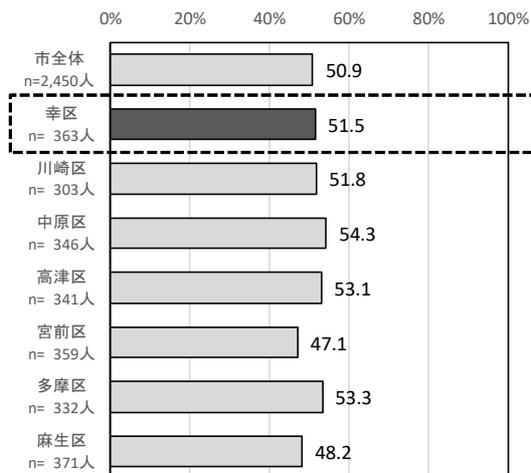


【参考】

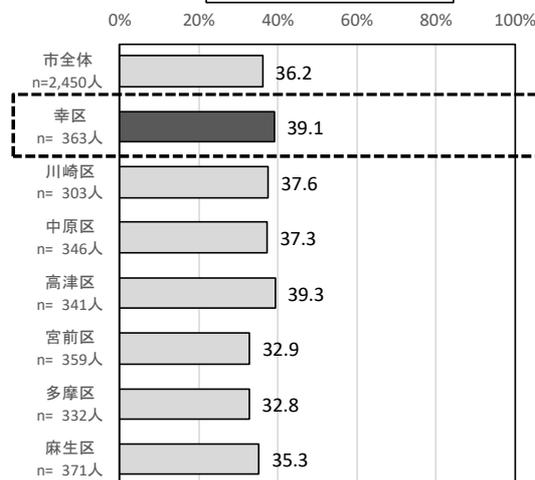
同居している家族



友人・知人



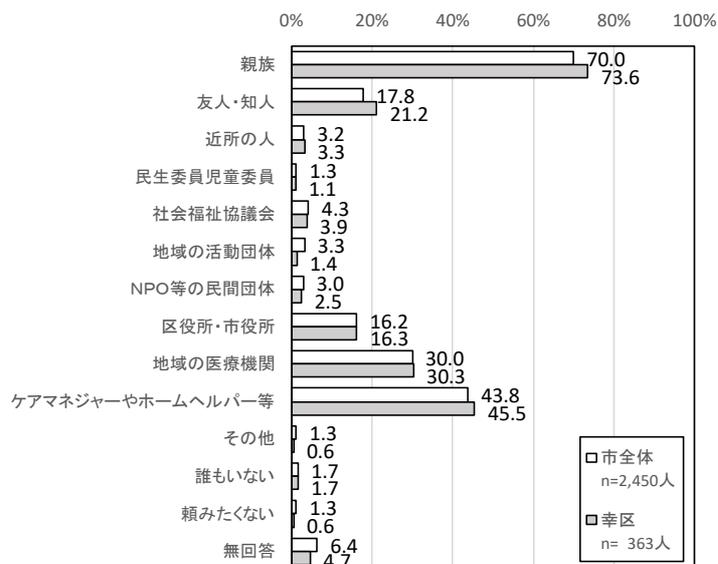
離れて暮らしている家族



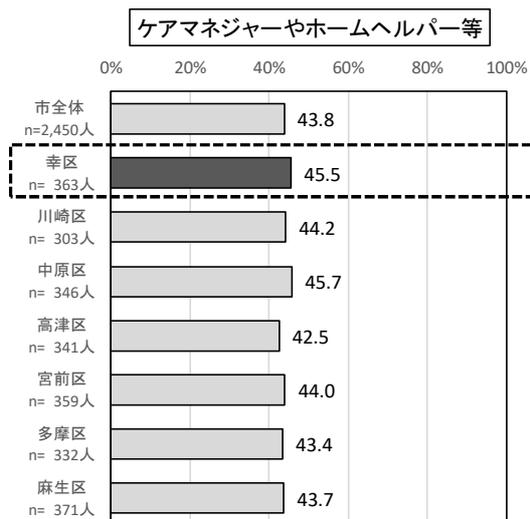
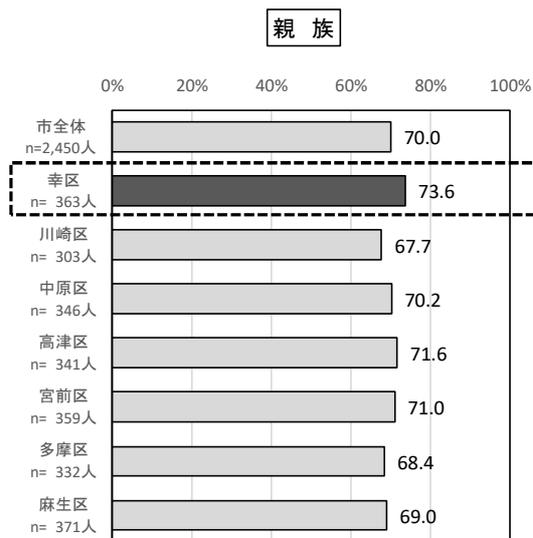
問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（〇は3つまで）

幸区では、「親族」は73.6%で市全体（70.0%）を上回っている。

市内6区と比較すると、「親族」は73.6%と最も高く、「ケアマネジャーやホームヘルパー等」は45.5%と2番目に高い。



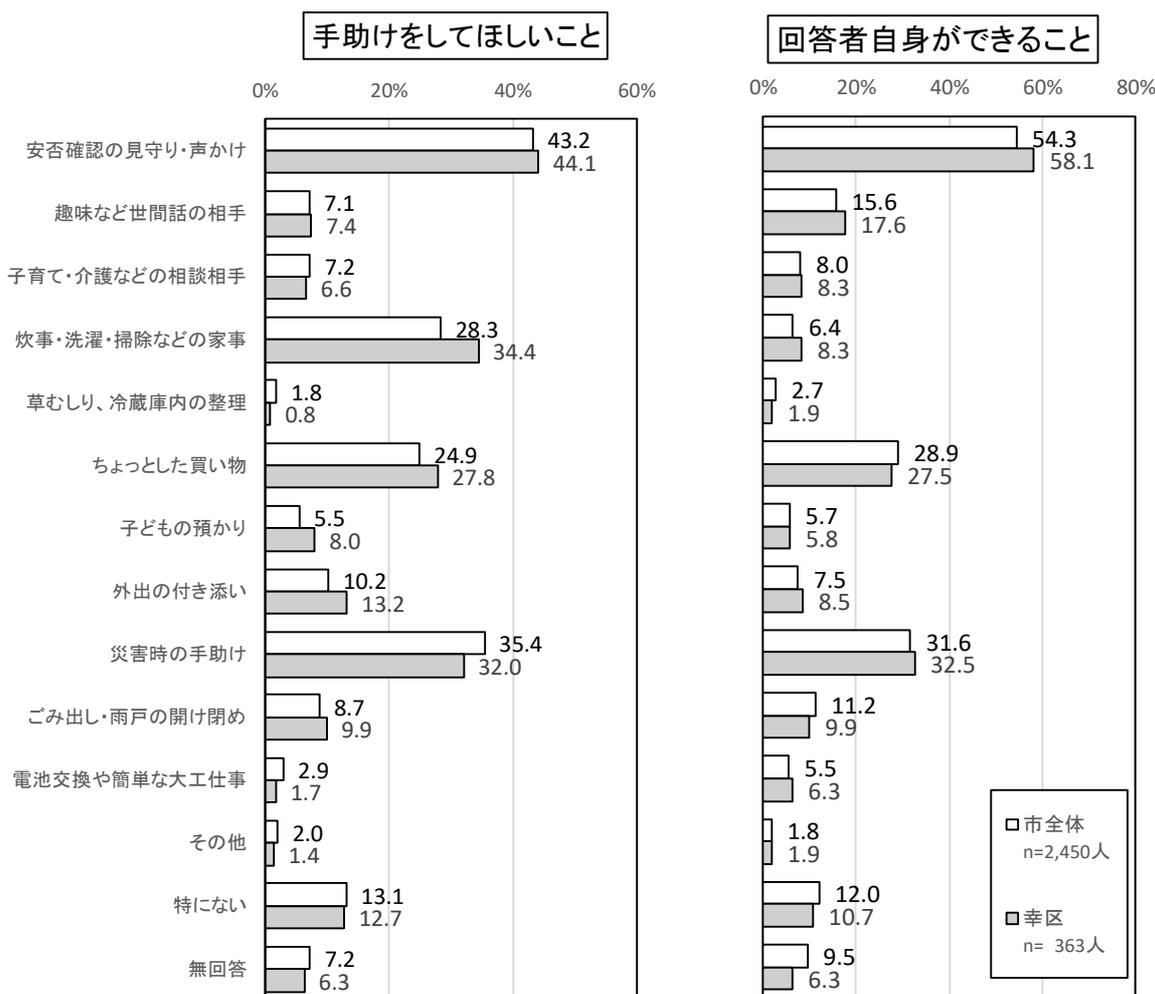
【参考】



問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにご
んな手助けをしてほしいですか。(〇は3つまで)

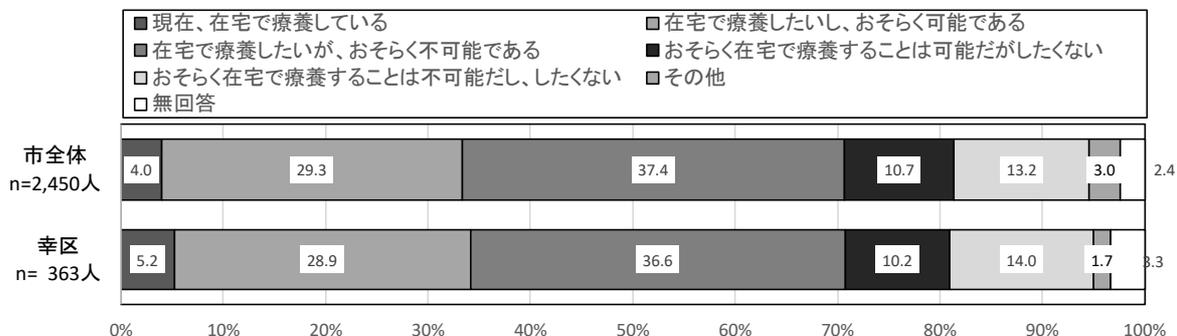
問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合
いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで)

幸区では、手助けをしてほしいことについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が44.1%で最も高く、次いで「炊事・洗濯・掃除などの家事」(34.4%)、「災害時の手助け」(32.0%)となっており、自身ができることについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が58.1%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(32.5%)、「ちょっとした買い物」(27.5%)となっている。



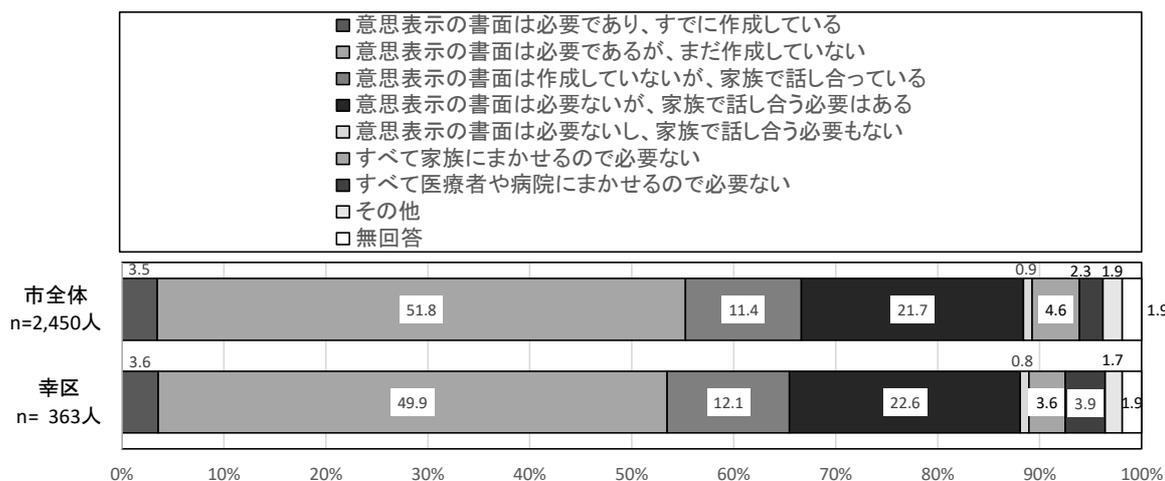
問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。(〇は1つだけ)

幸区では、「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」の割合が36.6%で最も高く、次いで「在宅で療養したいし、おそらく可能である」(28.9%)、「おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない」(14.0%)となっている。



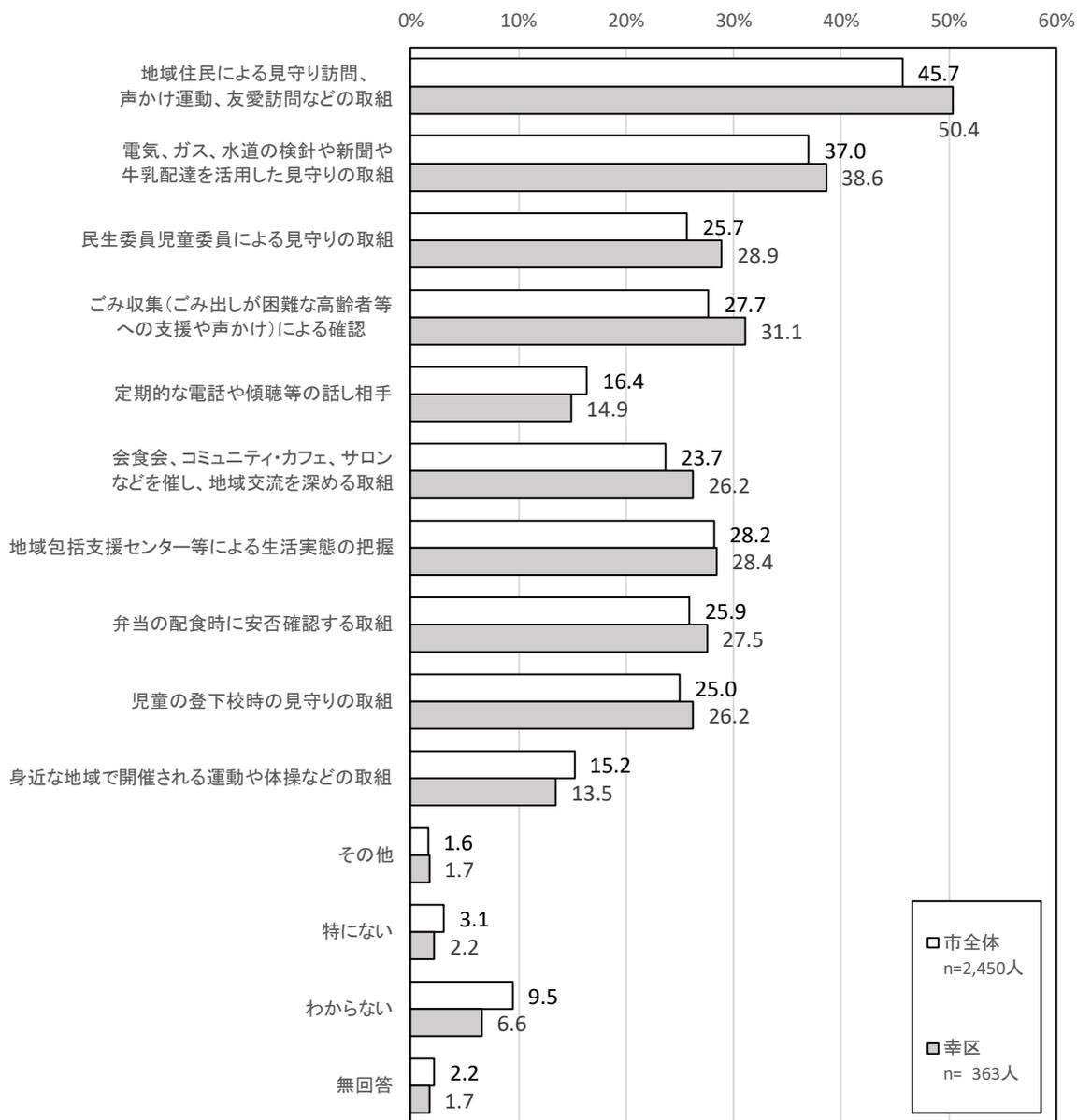
問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

幸区では、「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」の割合が49.9%で最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」(22.6%)、「意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている」(12.1%)となっている。



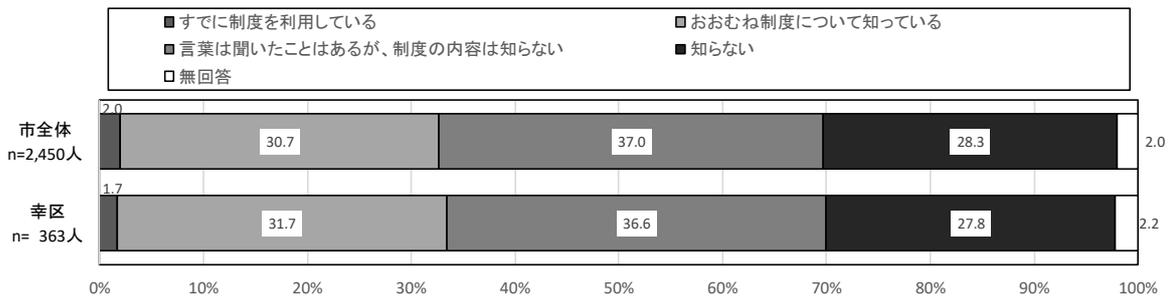
問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（〇は5つまで）

幸区では、「地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組」の割合が50.4%で最も高く、次いで「電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組」（38.6%）、「ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認」（31.1%）となっている。



問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

幸区では、「言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」の割合が 36.6%で最も高く、次いで「おおむね制度について知っている」(31.7%)、「知らない」(27.8%)となっている。

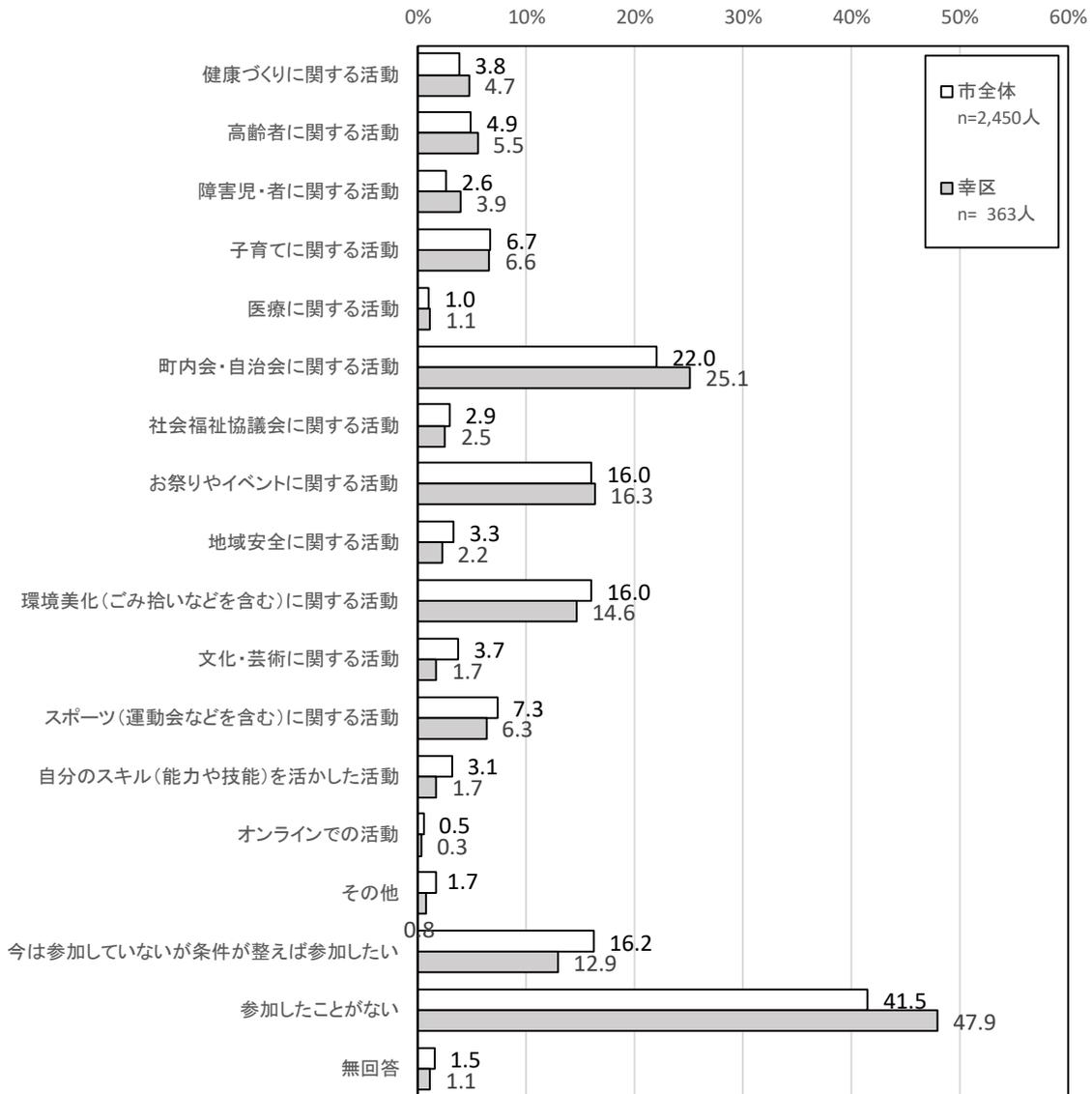


4. 地域活動やボランティア活動について

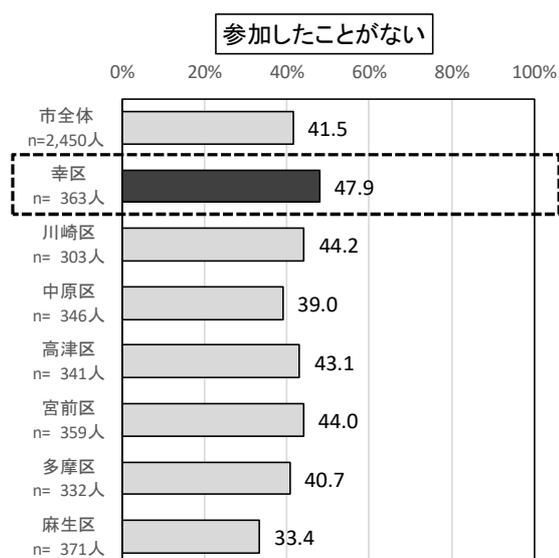
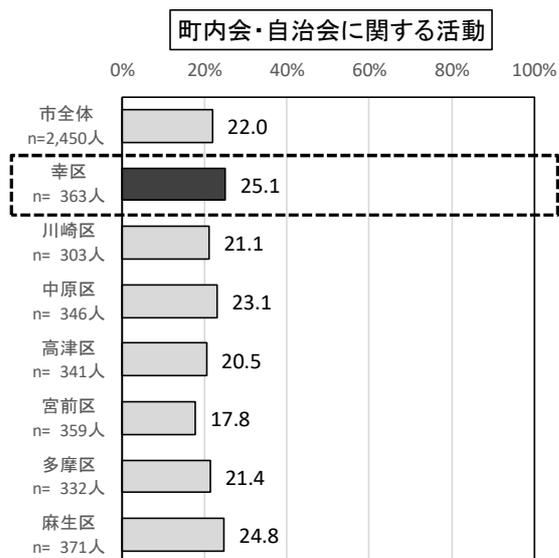
問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「参加したことがない」の割合が47.9%で最も高く、次いで「町内会・自治会に関する活動」（25.1%）、「お祭りやイベントに関する活動」（16.3%）となっている。

市内6区と比較すると、「参加したことがない」の割合は47.9%で最も高い。また、「町内会・自治会に関する活動（25.1%）」についても最も高い。



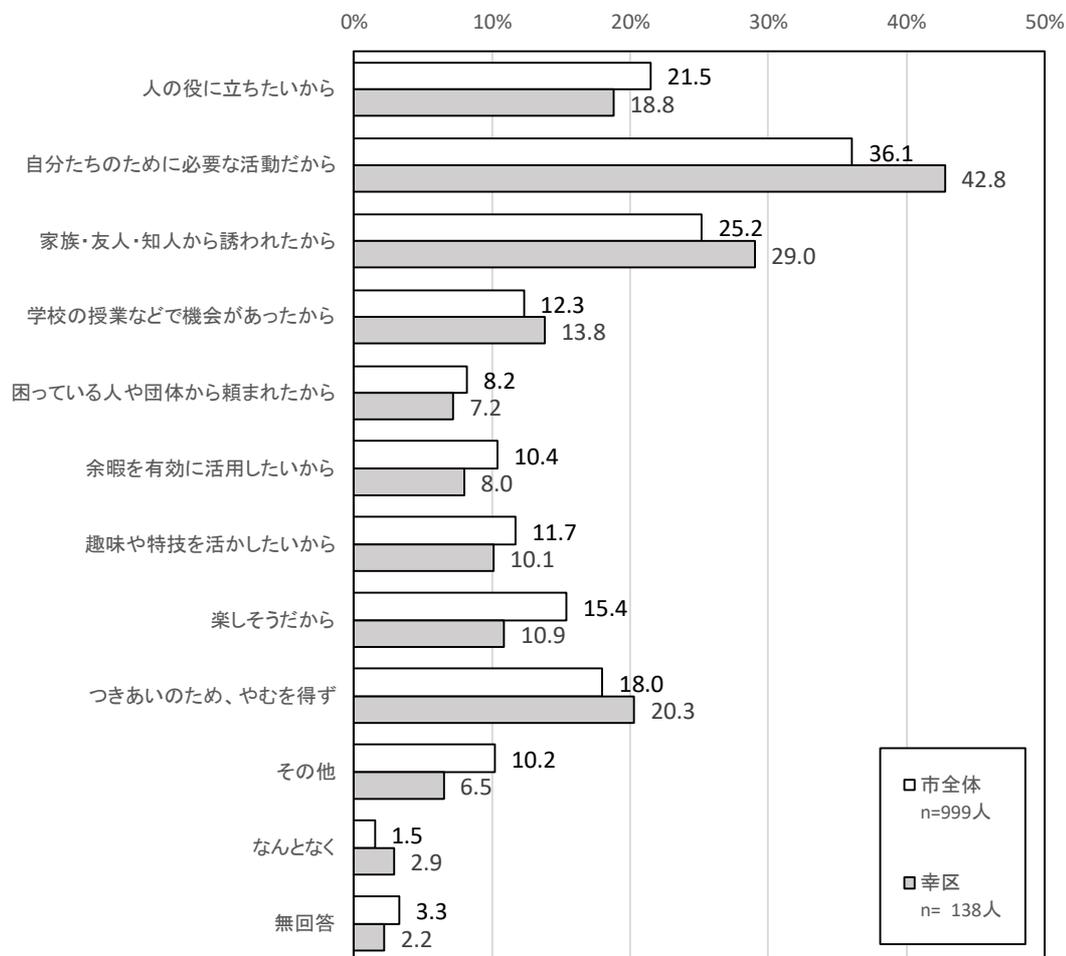
【参考】



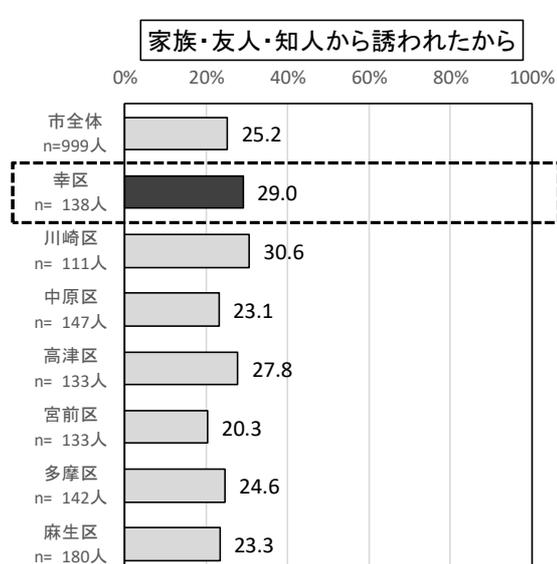
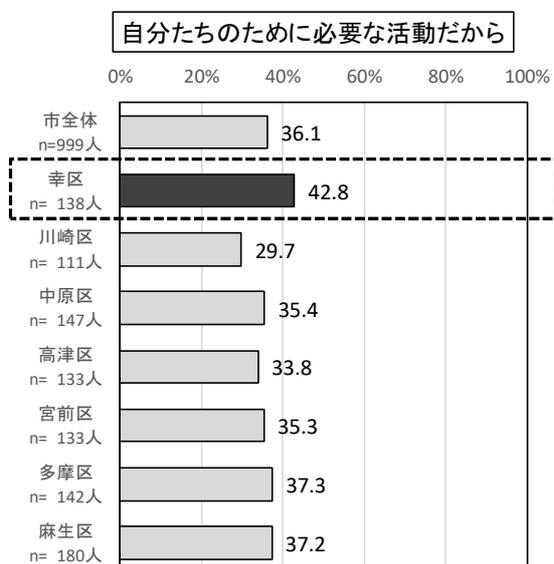
問 30-1 《問 30 で「1」～「13」のいずれか（ボランティア活動に参加したことがある）にお答えの方》活動に参加した動機やきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「自分たちのために必要な活動だから」の割合が 42.8%で最も高く、次いで「家族・友人・知人から誘われたから」（29.0%）、「つきあいのため、やむを得ず」（20.3%）となっている。

市内 6 区と比較すると、「自分たちのために必要な活動だから」の割合が 42.8%で最も高く、「家族・友人・知人に誘われたから」（29.0%）は 2 番目に高い。



【参考】

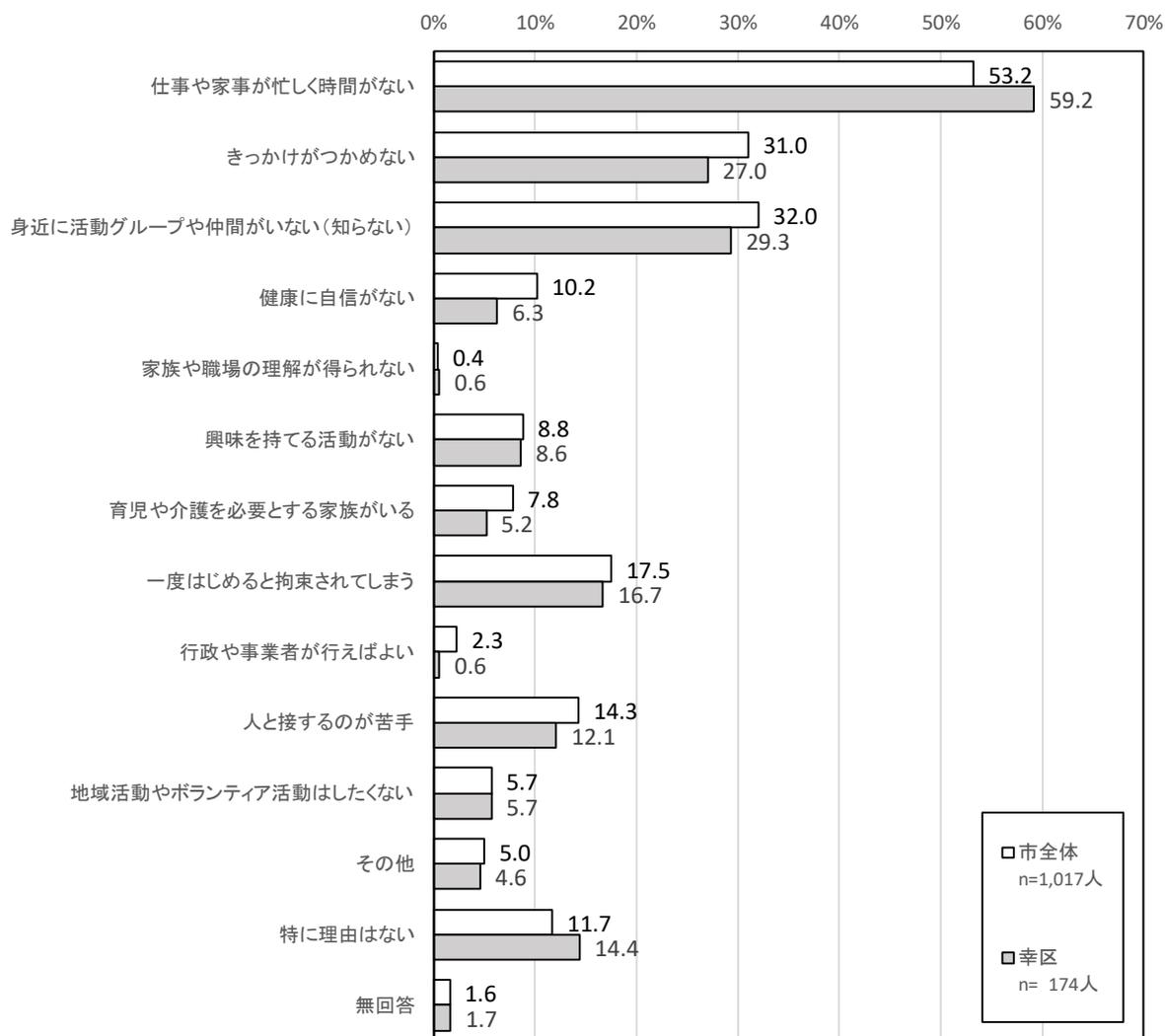


問 30-6 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

幸区では、「仕事や家事が忙しく時間がない」の割合が 59.2%で最も高く、次いで「身近に活動グループや仲間がない(知らない)」(29.3%)、「きっかけがつかめない」(27.0%)となっている。

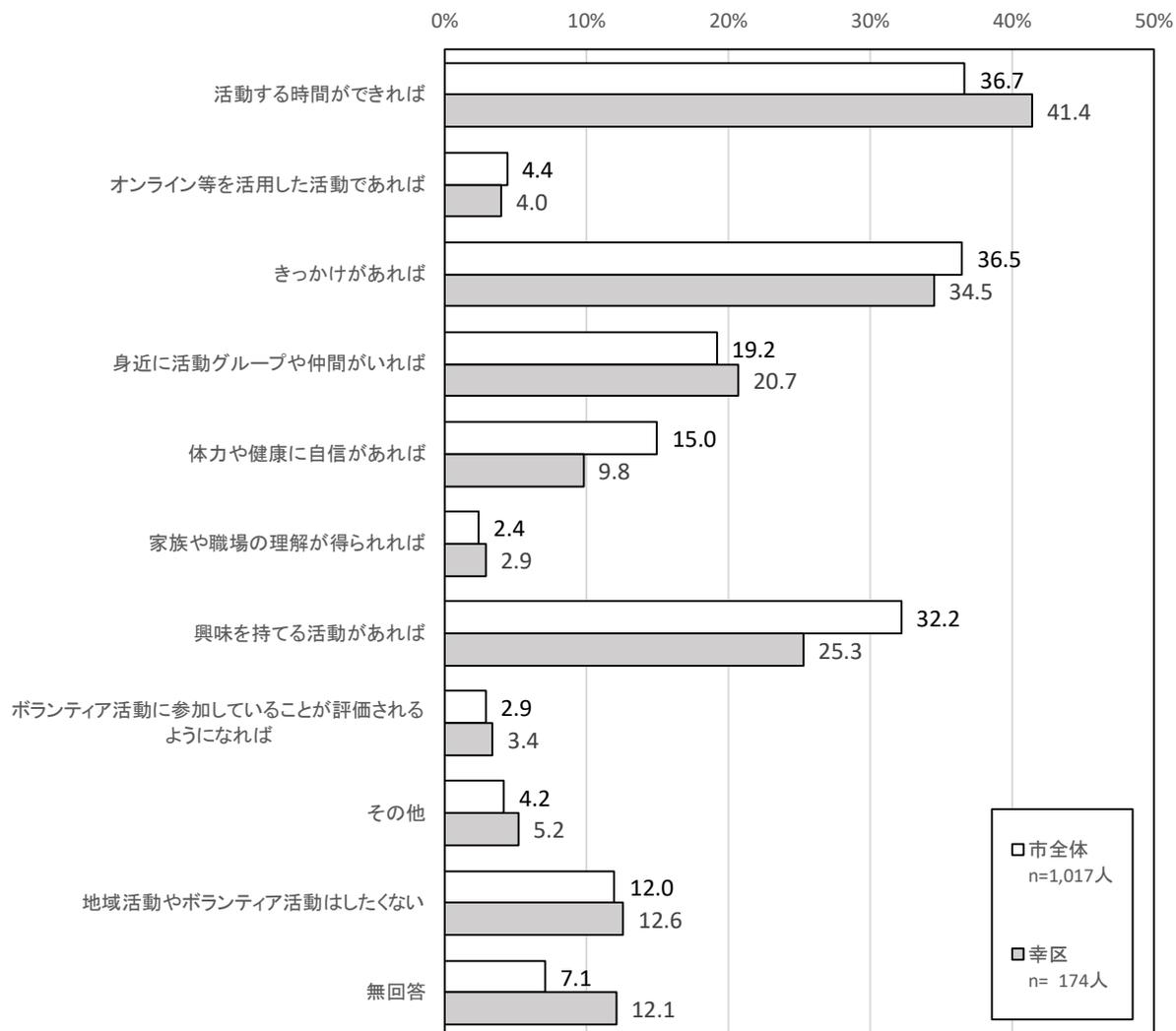


問 30-7 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

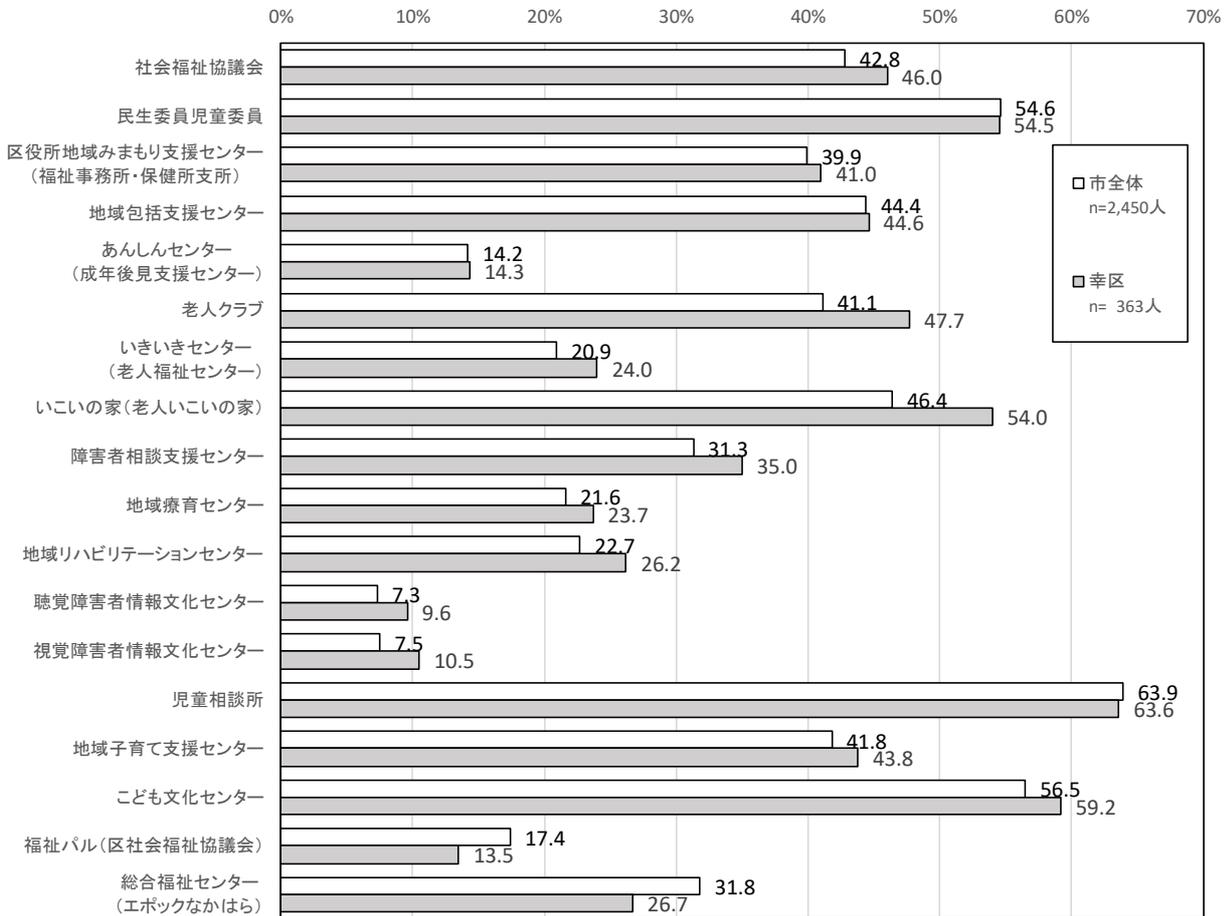
幸区では、「活動する時間ができれば」の割合が 41.4%で最も高く、次いで「きっかけがあれば」が 34.5%、「興味を持てる活動があれば」が 25.3%となっている。



5. 保健・福祉に関することについて

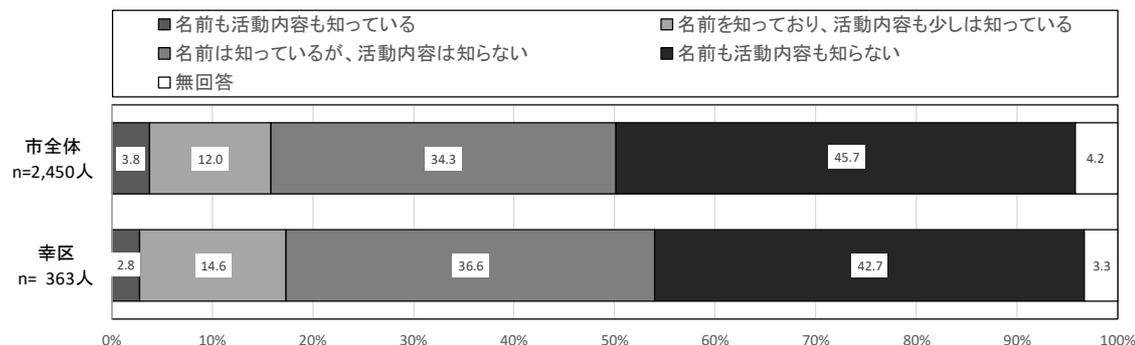
問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。（○はそれぞれ1つだけ）

幸区では、「児童相談所」の割合が63.6%で最も高く、次いで「こども文化センター」（59.2%）、「民生委員児童委員」（54.5%）となっている。



問 32 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存知ですか。（○は1つだけ）

幸区では、「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」の合計が17.4%で、市全体（15.8%）を上回っている。

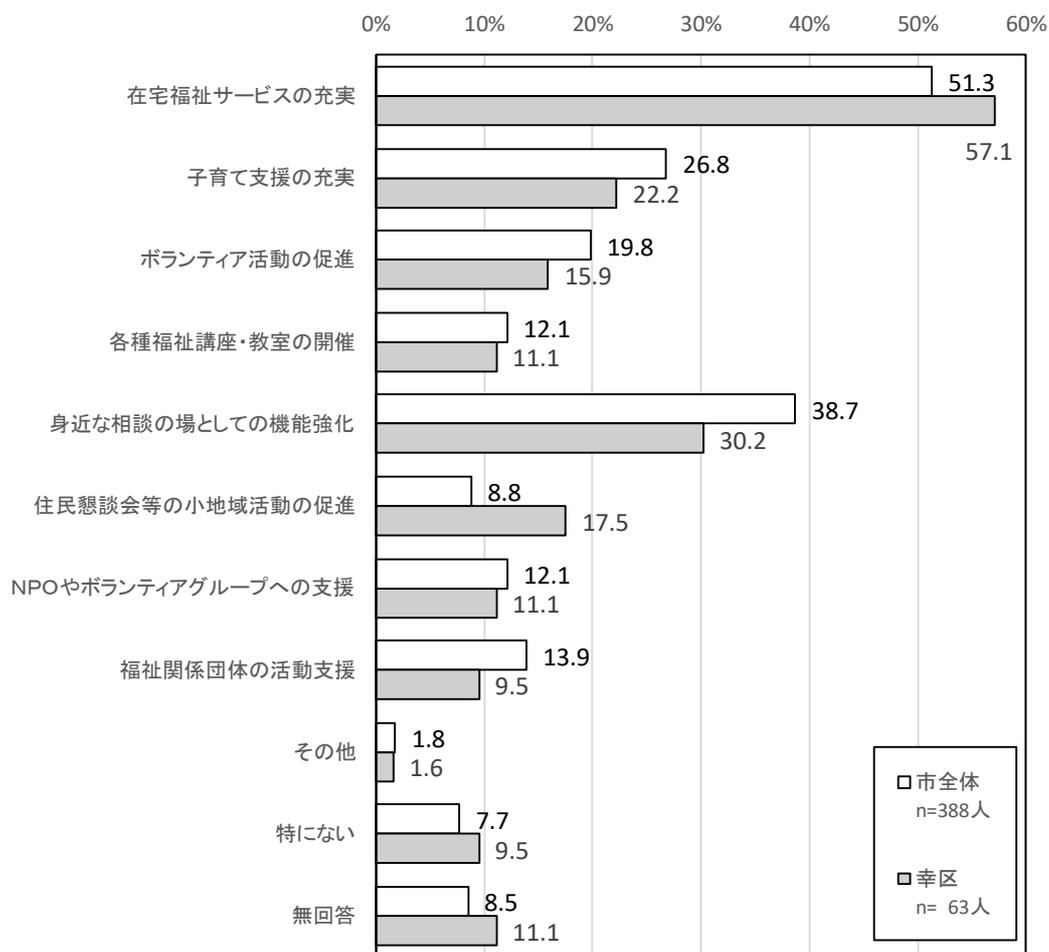


問 32-1 《問 32 で「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」にお答えの方》

あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。

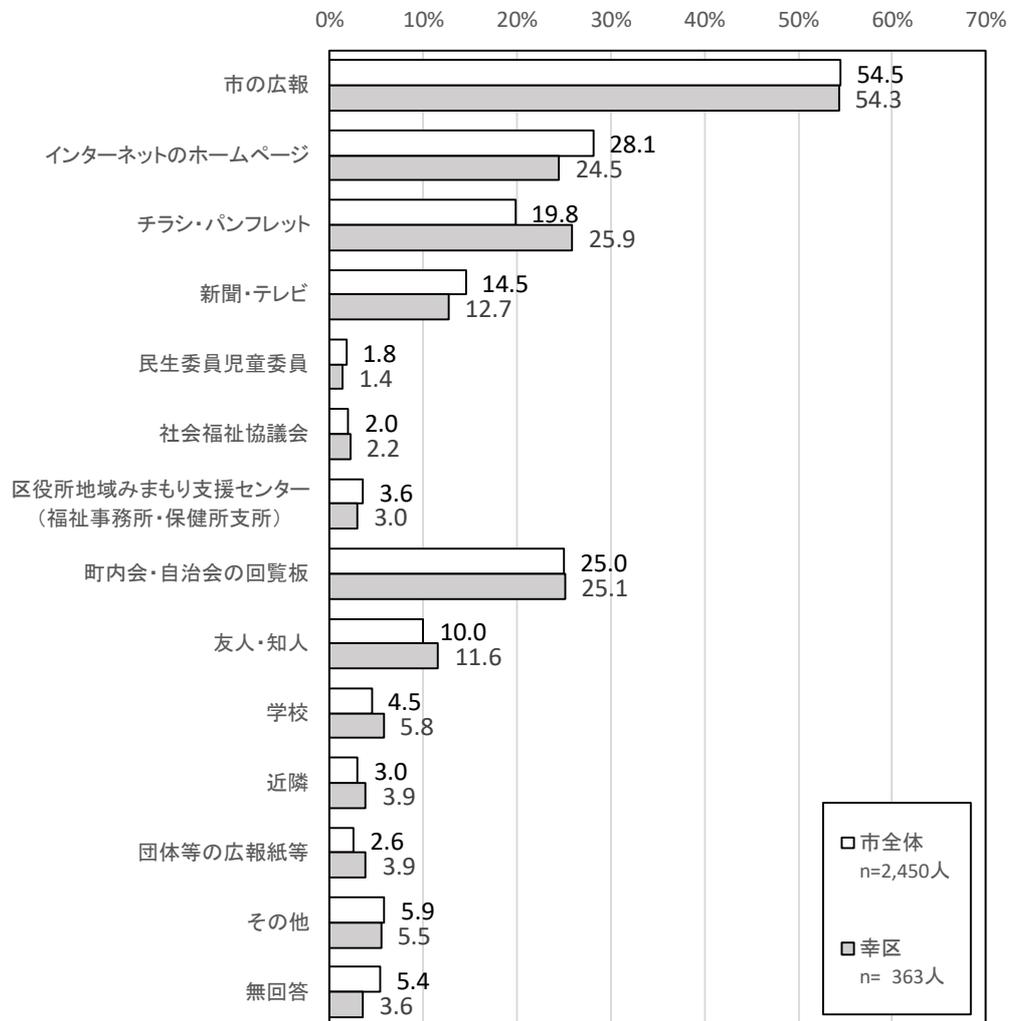
（○は3つまで）

幸区では、「在宅福祉サービスの充実」の割合が57.1%で最も高く、次いで「身近な相談の場としての機能強化」（30.2%）、「子育て支援の充実」（22.2%）となっている。



問 33 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

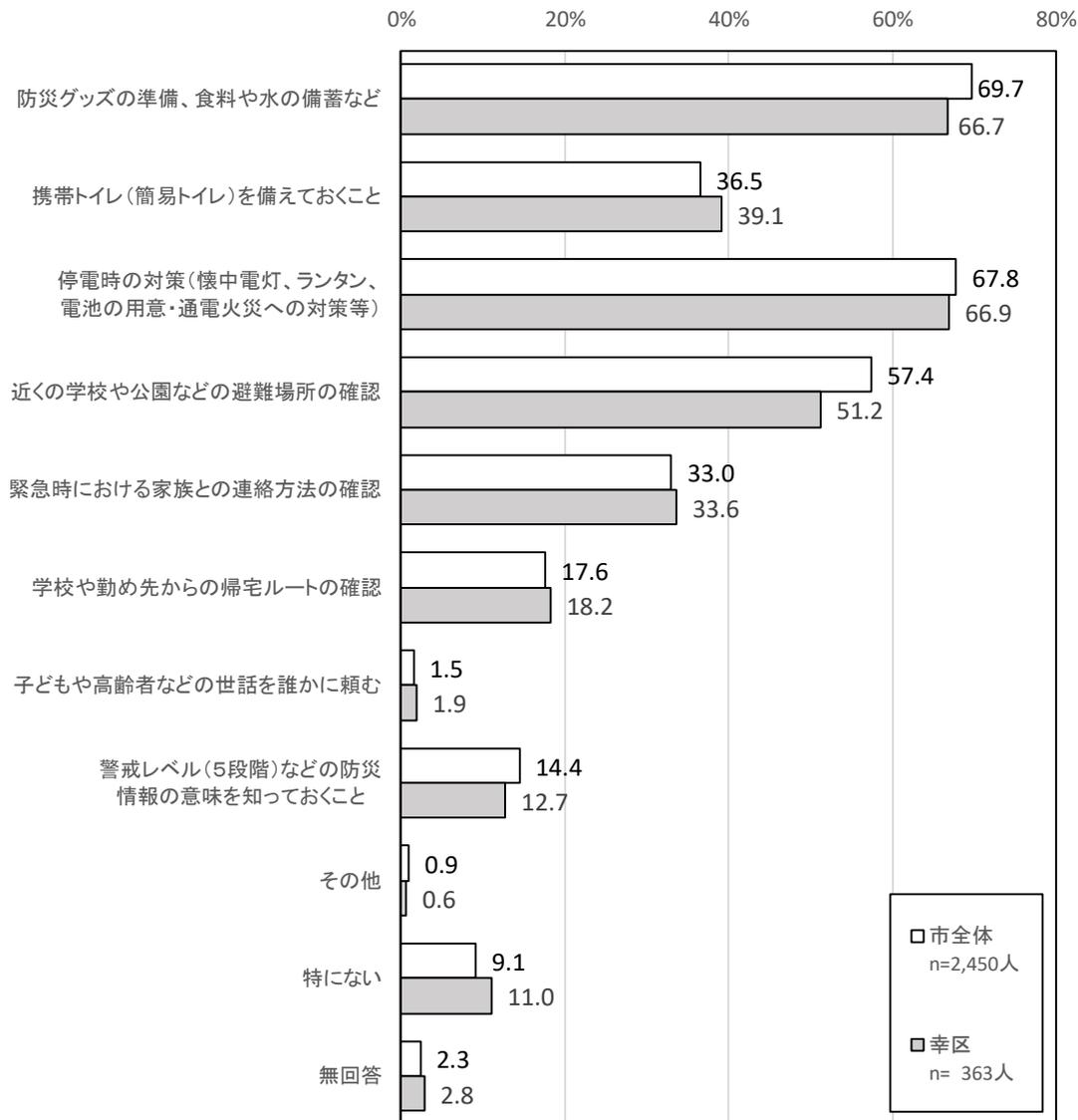
幸区では、「市の広報」の割合が 54.3%で最も高く、次いで「チラシ・パンフレット」(25.9%)、「町内会・自治会の回覧板」(25.1%)となっている。



6. 防災に対する意識と備えについて

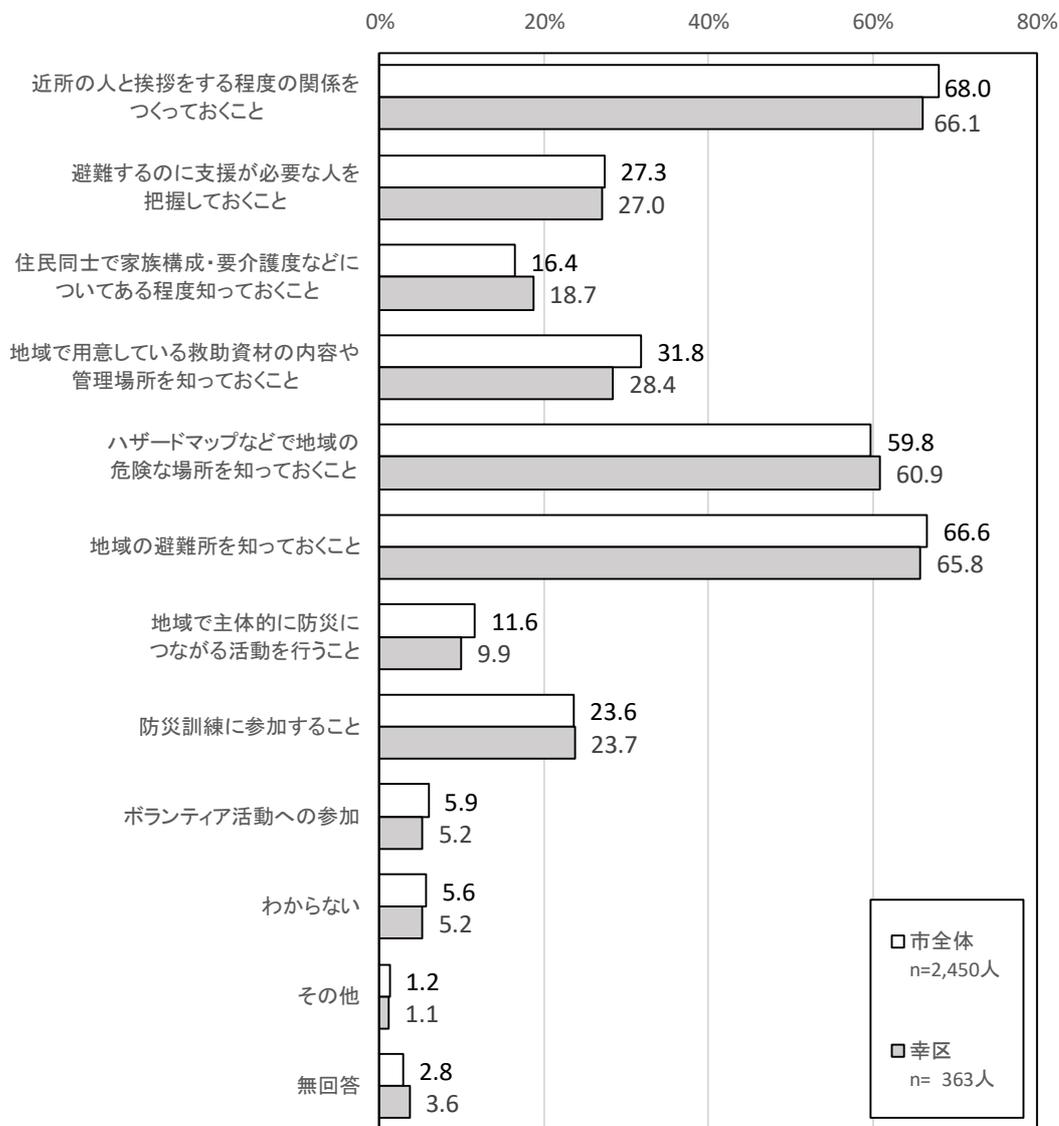
問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）」の割合が66.9%で最も高く、次いで「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」（66.7%）、「近くの学校や公園などの避難場所の確認」（51.2%）となっている。



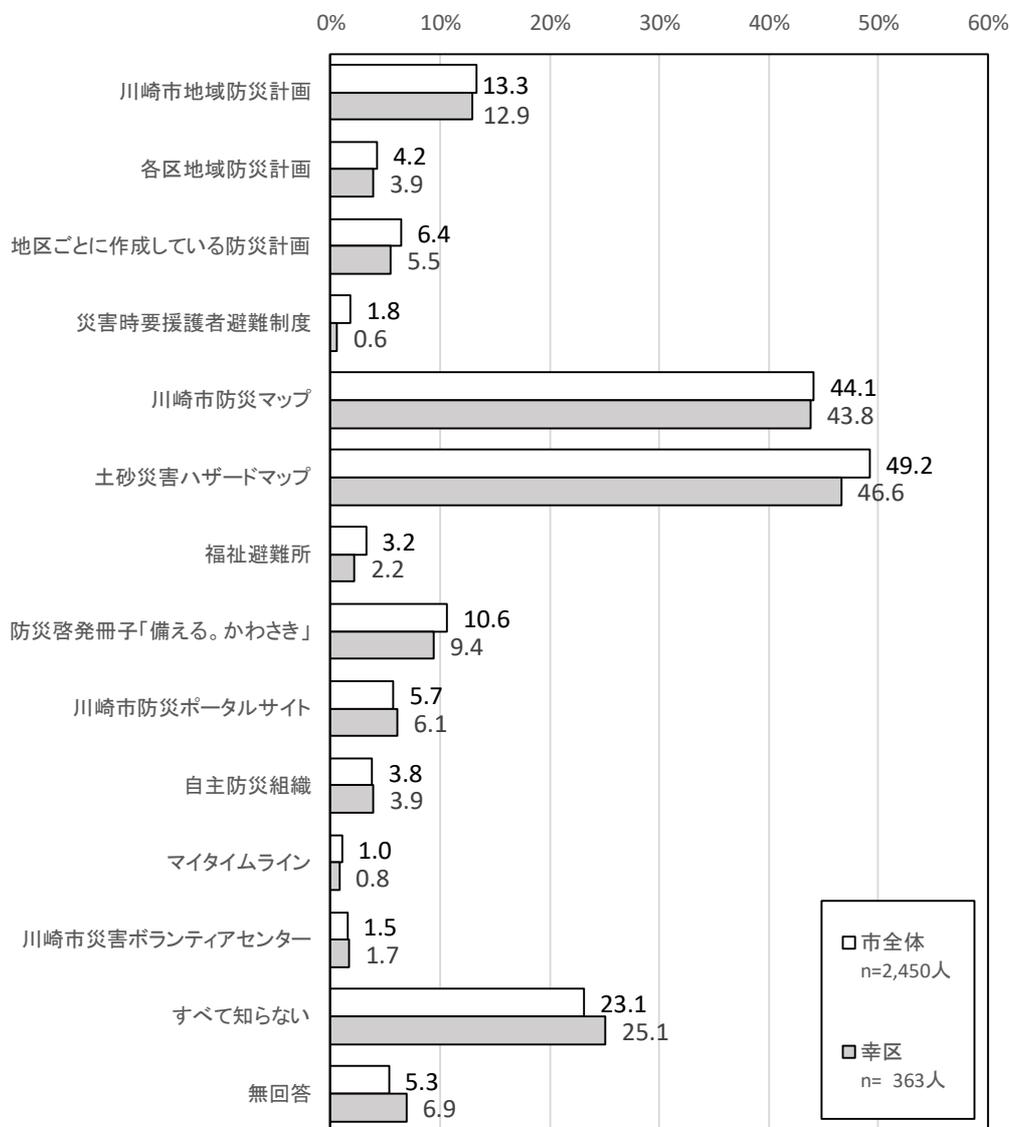
問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）（新規設問）

幸区では、「近所の人と挨拶をする程度に関係をつくっておくこと」の割合が66.1%で最も高く、次いで「地域の避難所を知っておくこと」（65.8%）、「ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと」（60.9%）となっている。



問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）
 （新規設問）

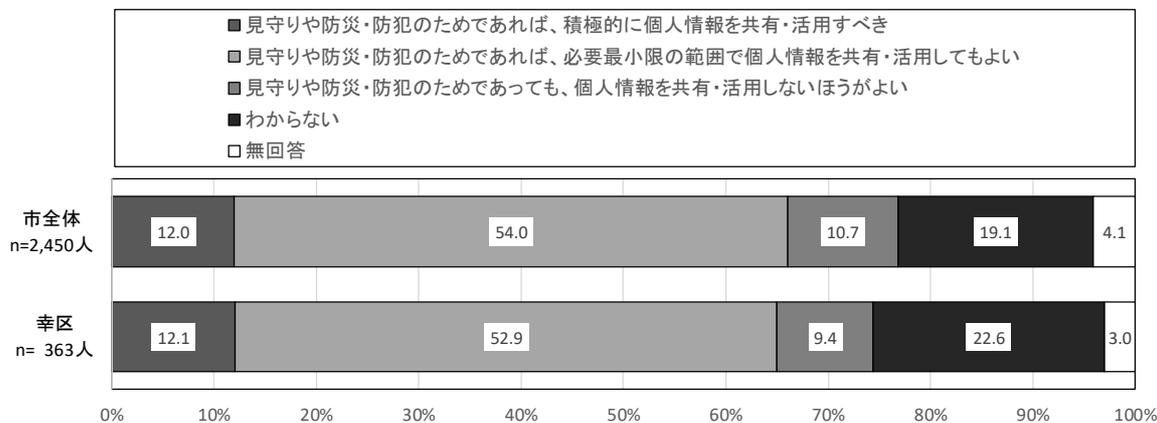
幸区では、「土砂災害ハザードマップ」の割合が46.6%で最も高く、次いで「川崎市防災マップ」
 (43.8%)、「すべて知らない」(25.1%)となっている。



問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。

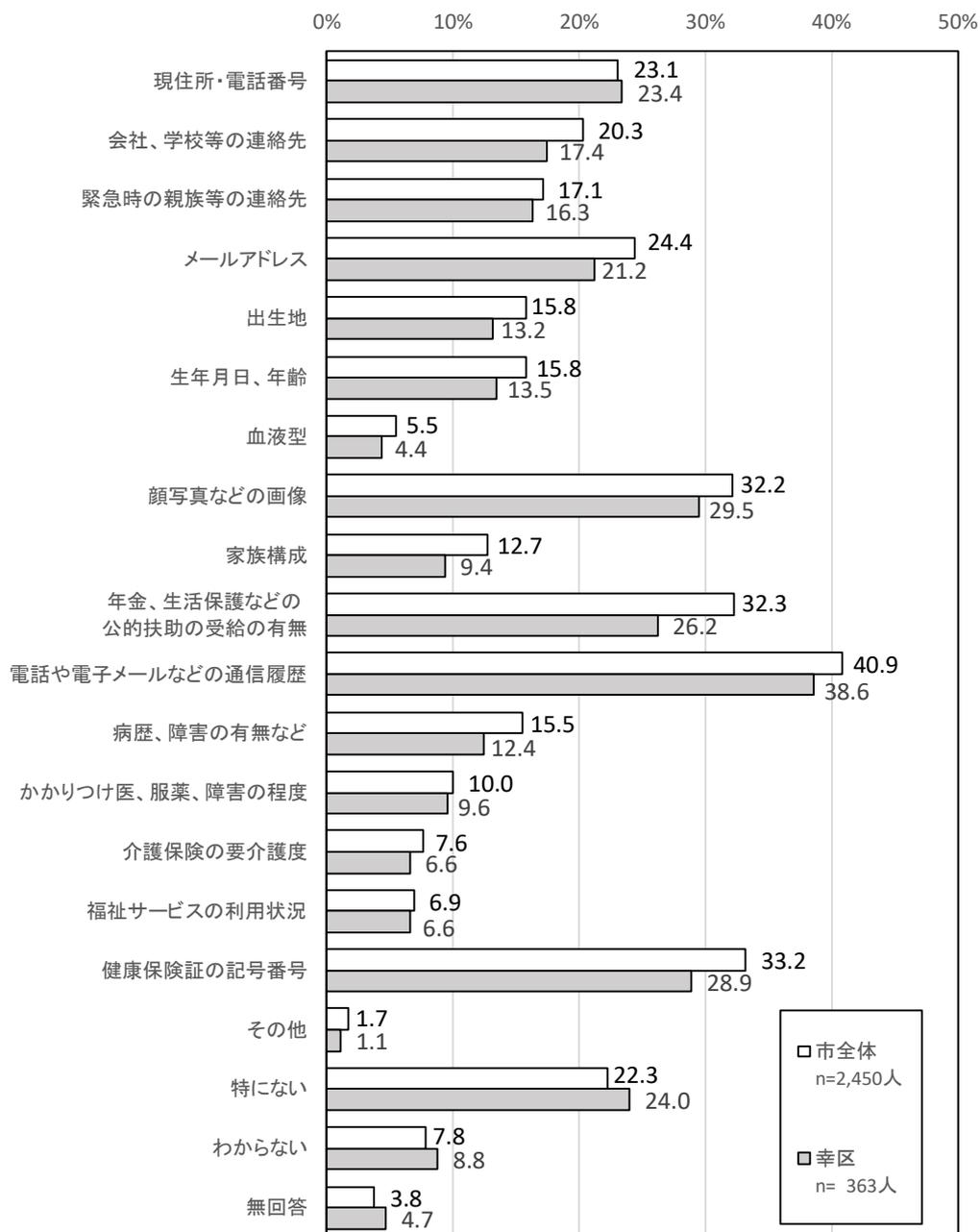
(○は1つだけ)

幸区では、「見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」、「見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」の合計が65.0%となっている。



問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたいくないものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「電話や電子メールなどの通信履歴」の割合が38.6%で最も高い。次いで「顔写真などの画像」（29.5%）、「健康保険証の記号番号」（28.9%）となっている。

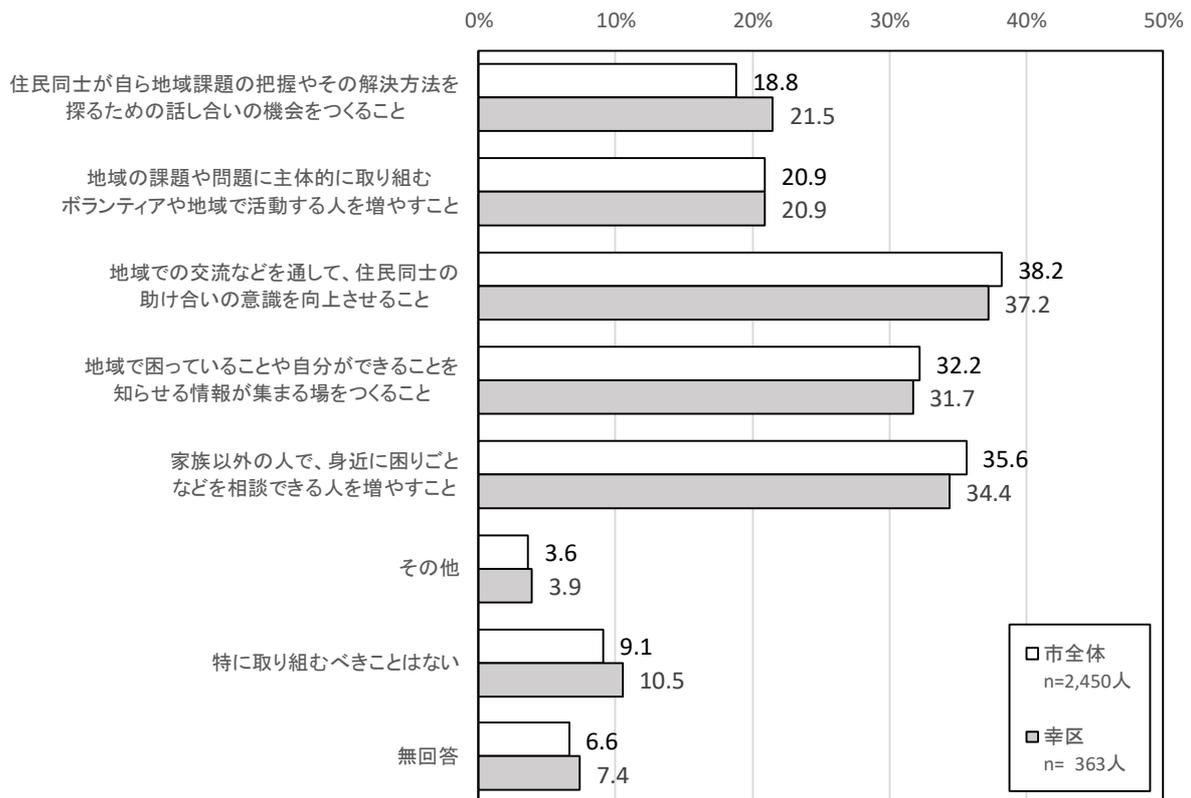


7. 今後の地域福祉の推進について

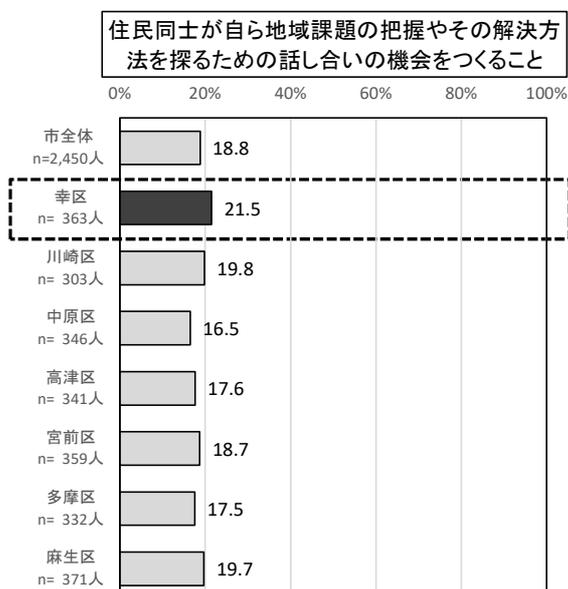
問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」の割合が37.2%で最も高く、次いで「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」（34.4%）、「地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること」（31.7%）となっている。

市内6区と比較すると、「住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること」については、21.5%と最も高い。



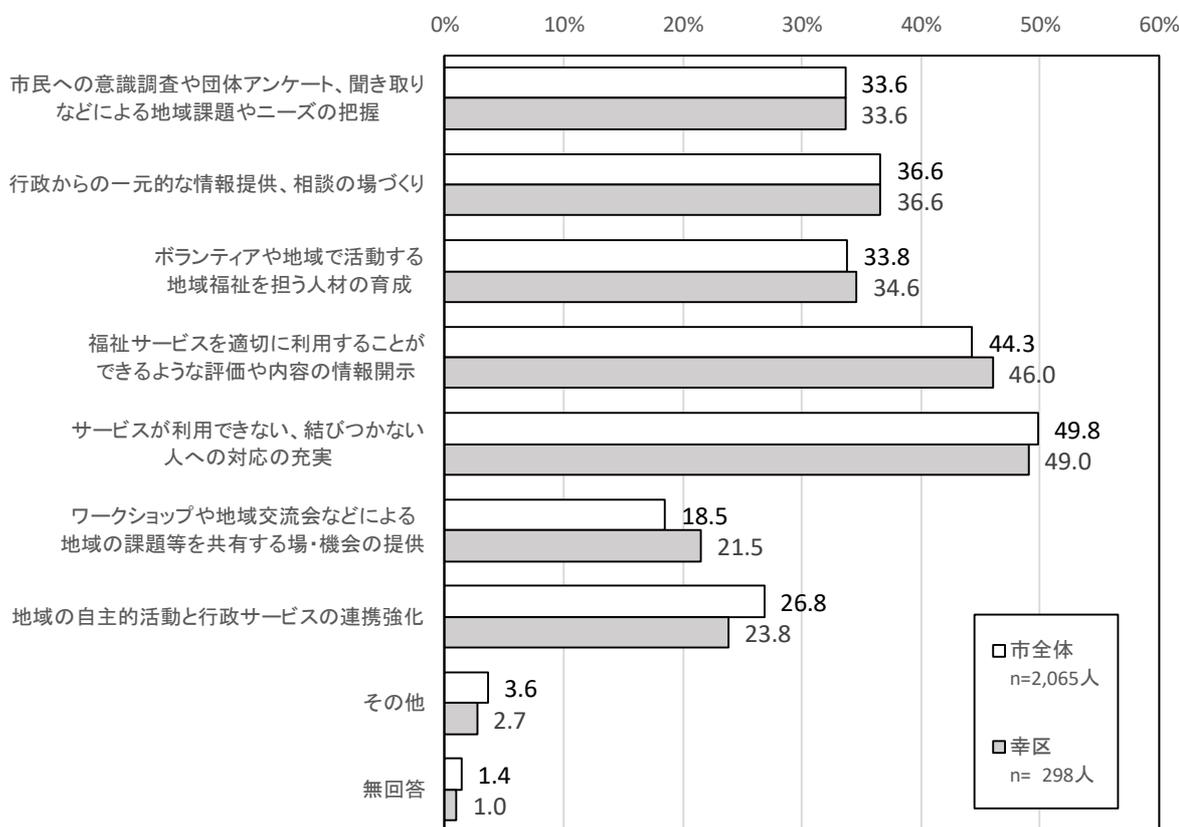
【参考】



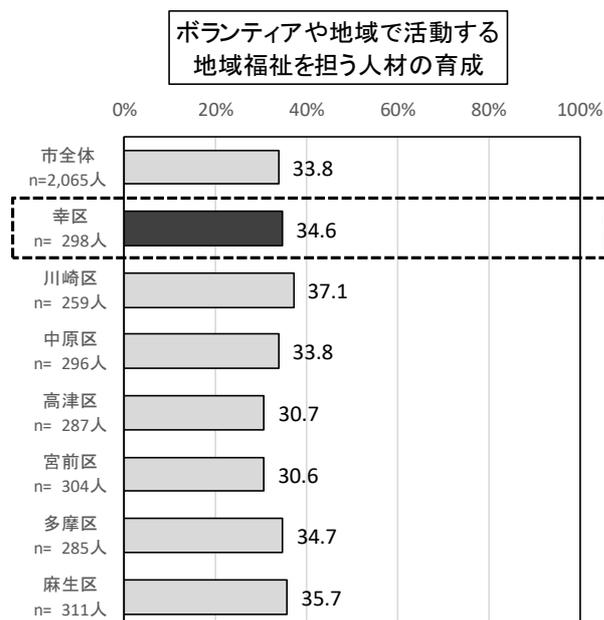
問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」の割合が49.0%で最も高く、次いで「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」(46.0%)、「行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり」(36.6%)となっている。

市内6区と比較すると、「ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成」については、市全体の割合(33.8%)よりも高くなっている。



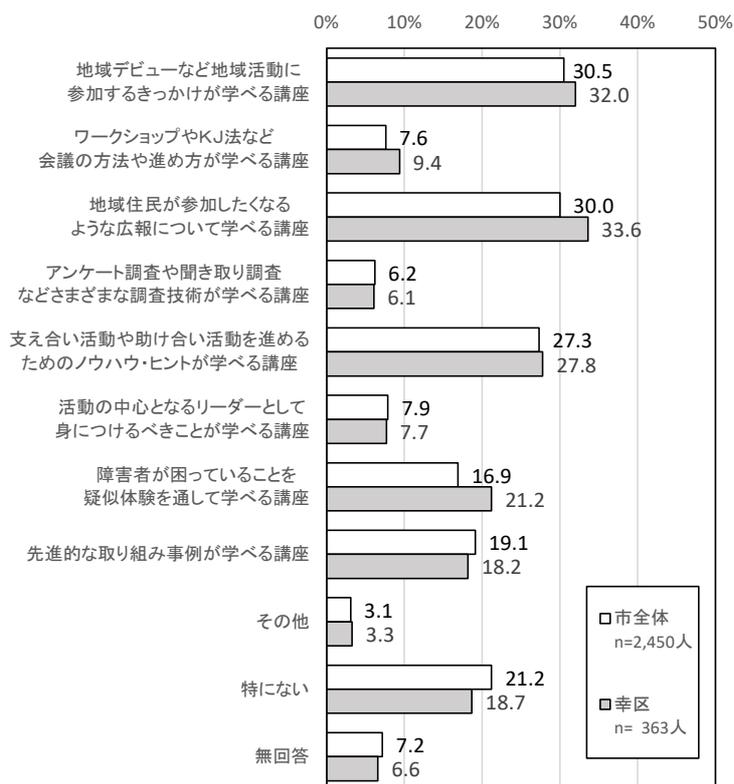
【参考】



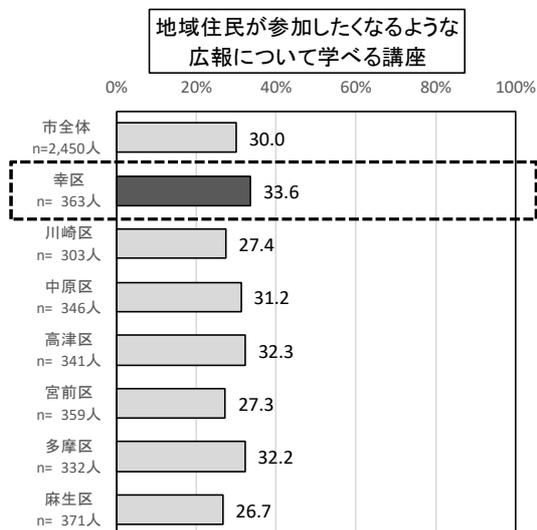
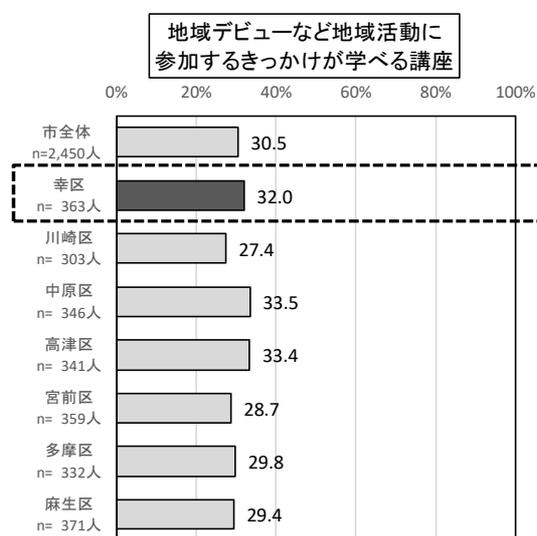
問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

幸区では、「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」が33.6%で市全体（30.0%）を上回っている。

市内6区と比較すると、「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」は33.6%と最も高い。また、「地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座」は32.0%と3番目に高い。



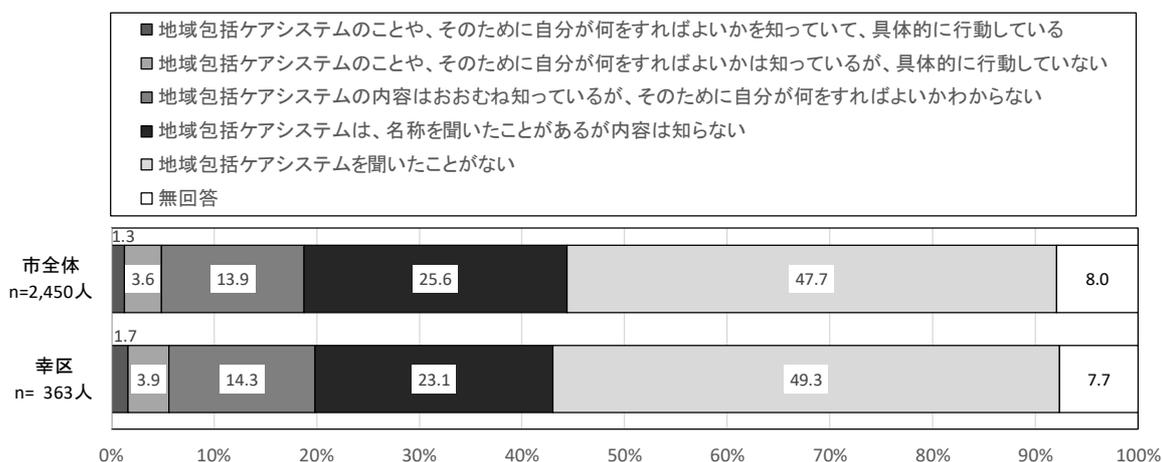
【参考】



問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。

(○は1つだけ)

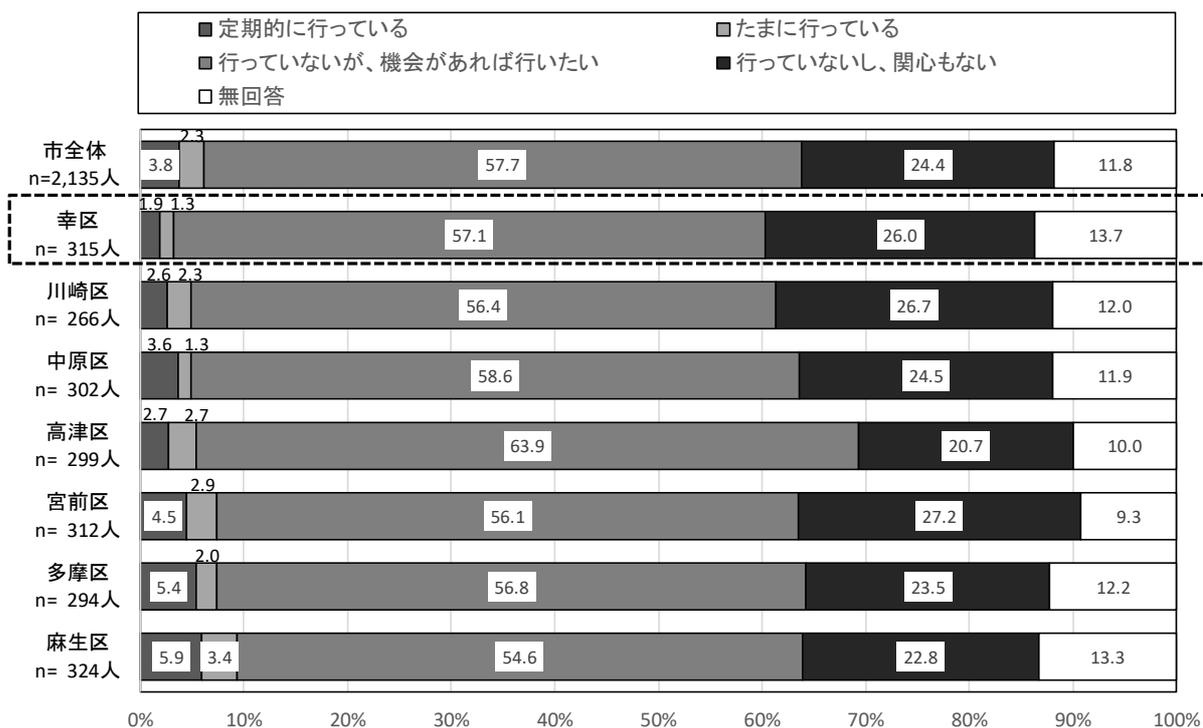
幸区では、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」の割合が49.3%で最も高く、次いで「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」(23.1%)、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」(14.3%)となっている。



問 44-1 《問 45 で「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」にお答えの方》

地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。(〇は1つだけ)

幸区では、「定期的に行っている」、「たまに行っている」の割合の合計が 3.2% で市全体 (6.1%) を下回っている。市内 6 区と比較すると、「定期的に行っている」の割合は 1.9% で、川崎区 (2.6%) に次いで低い。また、「行っていないが、機会があれば行いたい」の割合は 57.1% で高津区 (63.9%)、中原区 (58.6%) に次いで 3 番目に高くなっている。



8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます

(1) 地域で問題になっていること

地域で問題になっていることとしてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 地域で問題になっていること

意見の内容	件数
1. 子どもに関する問題	13
2. 地域防犯・防災に関する問題	16
3. 高齢者に関する問題	9
4. 地域のつながりに関する問題	17
5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題	6
6. 障害児・者に関する問題	2
7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題	2
8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題	3
9. 健康づくりに関する問題	4
10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題	0
11. その他	4

1. 子どもに関する問題（13件）

区役所管内

	内容
1	保育園が少ない。
2	子どもはいないですが近所に公園があり、その公園で夜中などボール遊びや部活などの練習でボールを使用すると音がひびくためすごくうるさい。
3	学区内の範囲がせますぎて、公園が少ないので、子ども達のあそび場が必要。他の区の範囲が違いすぎる。子どもが元気いっぱい遊べない。
4	希望する認可保育園に入園出来ないこと。保育料が高い。狭い路地や交差点を運転するドライバーのマナーの悪さ（子どもを送迎している時危険を感じる）。
5	小学生に登校班がないことに驚いた。通学路は決して安全とは言えない道を通るのに、安心して送り出すことができないと感じた。
6	遊び場に関しては、花火、ボールができる場所の減少（2件）。できる公園でも注意されてしまう。
7	収入によって子どもへの手当が変わるのは差別だと思います。高収入といっても共働きか、子どもが何人か、そういったことで変わっていくので、収入による差別はやめてほしいです。
8	少年野球チームにおける、大人から子どもへのパワハラ。育成を目的とせず、勝利を優先する考え方で指導している。昔の体制を変えられない（丸一日練習させる、ケガへ配慮が足りない、当番負担）。川崎市だけでなく、全国的にまだまだこの様なチームが多い。子どもにスポーツを教える人がスポーツマンシップを理解しておらず、チーム選びがとても大変です。
9	新型コロナのせいで、子ども会活動ができなくなり、今も復活していない（マンション住人に年寄りが多く（70才以上が大半）、ロウるさい人がいる為）。公園で子ども（小学生）が遊んでいると、「うるさい！」と怒鳴る大人がいる。
10	少子高齢化による国力の低下。次代を担う子どもの教育や成長を支援する仕組みを充実させたい。

日吉出張所管内

	内容
1	マンションが新しく建てられ子育て世帯が増加しているが、保育園の数やイベント（子育て世帯向け）、また商業施設が不十分のように感じる。
2	認可保育園の倍率が高く、入園しづらい。
3	育児に不安、ストレスを抱えている人がいると思う。きちんと食事を与えているか、夜は子どもだけにしていないかなど・・・。

2. 地域防犯・防災に関する問題（16件）

区役所管内

	内容
1	物が盗まれる。
2	自転車のマナーが悪い。歩いていてヒヤッとすることが多い。
3	駐車禁止ゾーンにも関わらず、駐車をしている車が多く、車の往来がし辛い。歩道を我がもの顔で走っている自転車←“押して歩いて下さい”のイラストがあるにも関わらず、走って危ない。
4	飲食店や、パチンコの前の路上で、喫煙者がよくいます。子どもを連れて通りかかる時に、子どもの健康に悪いです。子どもがまねしたら困ります。
5	道が狭いのにスピード速い車や自転車が多数いる。公園でタバコを吸う人が多い。吸いがらが多い（公園は禁煙の条例をつくってほしい）。ごみがカラスにあらされている（カラス対策してほしい）。
6	大地震の時の行動。
7	自転車の車道への飛び出しが多発。自転車専用道路がもっと必要では？
8	不法投棄とそれに対する無関心（警察を含め）。再任用警察官の事なかれ主義（河川敷パトロールを含め）。
9	他国、県、都市より引越して来る者のマナー等（ごみ、騒音、防犯事案等について）。
10	交通安全の為、登校下校時に、見守りが必要と思う。
11	昔あったような、防犯ベルなどがあったほうが良いと思う。年寄りには、新しい、見守アプリなど、わからないので。

日吉出張所管内

	内容
1	夜間に公園でたむろしてたり、タバコをそこら中で吸ってたり、今の世の中では難しいかもしれないが、適切な場所に喫煙スペースを用意したり分けをすることで喫煙者、非喫煙者がお互い過ごしやすいと思う。公園は子どもが多いので、そういう場にはなるべくしてほしくない。
2	よくネットの地域ニュースで、不審者情報がある。
3	公園で喫煙していたり、通行人（自転車）を蹴ったりしている中学生を目撃し、怖さを感じたことがある。
4	最近玄関先にくつを干していたら盗まれた（昼間）。
5	店外で喫煙をさせる飲食店が多すぎる。非常に迷惑。尻手黒川道路を走るバイクがうるさい。旧車會を放置しすぎ。

3. 高齢者に関する問題（9件）

区役所管内

	内容
1	家族に高齢者がいるから。
2	高齢者増加による地域問題、子どもの保育園問題等防犯面、交通事故等の問題。
3	認知症による徘徊者を近所で何となしに気にかけてはいるが、交通事故や行方不明の危険を感じる。本人に自覚がない。あるいは本人が診断されることを拒むようなケースの非定型発達等の特性を持つ者について、行政や支援へアクセスする方法に乏しいと感じる。
4	施設に入れない。高いと聞く。職員の給与も安い。人材も少ない。
5	隣近所（並び）の殆ど（自分も含めて）が65歳以上の高齢者で足の不自由な人もいる。災害時の避難も難しい、と感じる。
6	自分自身が高齢者の中に入り、不自由だと感じる事が多少ある（まだいい方だとは思いますが）。
7	マンション内の高齢化。

日吉出張所管内

	内容
1	近所に一人住まいの高齢者が亡くなっていた。
2	要介護1（父）要介護2（母）がいる。昨年申請したが、これと言って使い道がない。せめて、オムツ代の補助があれば、家計が助かる。又、申請は1年毎で、しないと切れるのは面倒。（やってない）その時会社を休んで申請・審査は大変。申請は書類にてお知らせを送って来るなり、スマホ（PC）申請にしてほしい。福祉施設等に通わせたいが、平日は皆仕事の為、無理。また、料金が安い。

4. 地域のつながりに関する問題（17件）

区役所管内

	内容
1	コロナでいろんなイベントがなくなった。
2	車がないと移動に不便を感じる時がある。特に雨の日子どもの健診などで役所に行く時「車で来ないで下さい」と指示があるので、バスを乗り継がなければいけないので絶望する。また小杉方面のバスの本数も少ないし、鹿島田も行きにくい。お店が少ない（飲食店など）ので交流の場が減り、情報も減る。
3	いざという時に、近所とのつながりがないと、お互いの状況が詳細に至るまで話す事が出来ず、困っている内容を伝えにくくなる。
4	団地では動物禁止だが、犬、ブタを飼っている人がいる。子どもには、ここでは禁止されているからおしえていたが、だまっていれば、ばれなければ、と言う考えの人が多。子どもにウソを教える事になる。
5	不安や心配事をかかえる人は積極的な関わりを拒むと思う（独居の社会人・老人共）。
6	両隣もよく知らない。
7	小さい子どもがいないので、コミュニティやつながりが出来なかった。
8	同じマンションでエレベーターを乗り合わせても、挨拶すらしない大人や子どもが多い。特に子どもは知らない人と話さないように言われているらしい。
9	人と人との関係が希薄なのが一番問題だと思う。
10	人との関わりを持つ事から、皆、にげている。
11	町会での集まりがなくなり、区全体の情報も区報等ではなかなか伝わらない。

12	話をする機会がなくなった。
13	新型コロナウイルスで、その前は非常に人と人との関係がうまくいっていたのに、対面での交流もそこそこにすませる様になり情報が少なくなった。
14	まったく好きな人達だけで老人会とかしていて、古くからの人達だけで仲間に入れてくれないし声もかけてくれない。

日吉出張所管内

	内容
1	他者への無関心、不寛容。
2	ニュースなどで見聞きする事件などを考えると、地域で助け合うことができないか、漠然と考える。
3	連帯感が必要と思われる。

5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題（6件）

区役所管内

	内容
1	介護が必要なのに、そういったサービスを知らず、利用できていない人がいる。
2	物価の高騰に対する対応、年金減額、民間のための政策が全く見えない。義務教育であるが教材、給食費など個人負担であることが理解できない。この問題が地域で助け合うとなると税金増額になるのか。日本に住むストレスが諸外国より強くなるのはなぜか。
3	数年前から子どもが児童発達支援で療育に通っていますが、通い始めるまでの療育先探し、手続きなど何をどうすれば良いかまず情報が少なく、相談先もなくてとても困りました。
4	地域の情報が一定の人までしか伝わりにくい。
5	主にマナー違反。ごみ出し、ポイ捨て等。

日吉出張所管内

	内容
1	相談窓口がどこか、連絡先などがわからない。

6. 障害児・者に関する問題（2件）

区役所管内

	内容
1	東京では発達障害（軽度）のサポートが全学校でできていますが、川崎は指定の学校にしかなかったサポートが無く、親の送迎が必要で仕事を続けられなくなる人が出ています。私も同様になりそうで不安です。
2	障害者の職場の少ない所。もっと働ける場所を提供してもらいたい。

7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題（2件）

区役所管内

	内容
1	公園が足りない（特に球技の出来る規模の広さ）。

日吉出張所管内

	内容
1	勤労世代のコミュニティの場がない。土日や夜間など、勤労世代の近所でコミュニケーションをはかれる場がほしい。

8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題（3件）

区役所管内

	内容
1	D X推進、年金不安。

日吉出張所管内

	内容
1	市の相談窓口相談しても、トンチンカンなアドバイスをされ、施設をたらい回しにされるだけで何も解決しない。
2	相談したら負担に感じられそうなこと。

9. 健康づくりに関する問題（4件）

区役所管内

	内容
1	病院に行かないように個々人が健康にいるためになにかしらの努力をすべき。

日吉出張所管内

	内容
1	矢向に行くまでのルートに小児科がほしい（今は一駅先）。子どもをつれて役所に行きづらい（バスがない）。
2	近くにスポーツ施設がない。
3	いつも健康で人とのふれ合い、目から入る刺激、情報など大事にしたい。

10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題（0件）

11. その他（4件）

区役所管内

	内容
1	何か問題があると感じた事がない。
2	買い物そろそろスーパーが近所がない。

日吉出張所管内

	内容
1	休日は外にでない。
2	お金が足りない。

(2) 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由としてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

意見の内容	件数
1. 自分自身や子どものため	11
2. 地域交流のため	13
3. 社会貢献	5
4. 健康維持	3
5. 時間に余裕があるから	1
6. 身近で関心・興味がある	7
7. 仕事をしていた或いは資格があるから	3
8. 街の美化のため	3
9. 時間に余裕がなく、できない	3
10. 病気・高齢だからできない	2
11. 参加する気はあるが方法がわからない	1
12. その他	15

1. 自分自身や子供のため（11件）

区役所管内

	内容
1	当事者でもあるから。（3件）
2	自己の充実感のため。
3	自分も高齢者なので。
4	自分がどこまで、能力・体力が続くかためため。
5	とじこもったままになりそうなので・・・。
6	自分の子どものためになりそうだから。
7	子どもが住み良い環境をつくりたいから。
8	様々な経験がしたいから。
9	楽しみながら出来ることだから。

日吉出張所管内

	内容
1	これから出産をひかえており、今後自分だけでなく子どものためにもなりそうだから。
2	特に子どもたちが楽しそうにしているから。

2. 地域交流のため（13件）

区役所管内

	内容
1	地域住民との交流。
2	人見知りなので、中々自分に合ったりするものがないし、行動できない。知り合いや友人と一緒にできるものがあればやりたい。
3	子どもを持つ親として経験を活かしたり、逆に学ぶことも多いと思うので。災害に備える準備が必要だと思うから。
4	子どもが地域の方と関わってほしいから。
5	掲示板や小学校からの手紙でしか情報がないため、日程が合うものは参加してみたい。参加する側も何のための目的があるか把握したうえで参加したい。
6	生かせる所が身近にあれば生活にも活気がでる。
7	地域になじむため。
8	町内会活動は地域住民にとって必要不可欠であると思うので協力は惜しまない。
9	地域貢献は大事という、根本的な考えで。町会の活動やお祭りは絶やしてはいけない。大事な日本の文化なので。

日吉出張所管内

	内容
1	土曜は、子どもと自分だけなので気軽につきあえる人がほしい。
2	子育てを地域全体で行う必要があると思う。高齢になった時にコミュニティがある場所が必要だと思う。
3	地域での知人、友人を作るため。
4	同じ障がいを持つ、近所の方々との交流（家族で）が出来ると、心強い。小学校では支援級仲間。中・高でも同学年での仲間が居て、相談も出来ましたが、地域・ご近所ではそのつながりがほとんどない。

3. 社会貢献（5件）

区役所管内

	内容
1	子どものためにも地域貢献したい。（2件）
2	週や月に何度も参加出来る状況でしたら、高齢者や子育てに関する活動をしていき、相手の方の変化に気付いたり、長期的なかかわりで交流が持てて、役に立てると思います。現実的にはそれが難しい状況の為、行事の様な、文化、芸術に関する活動なら出来ると思いました。
3	身内に障害者がいる為、いろいろな活動には協力したいと思っています。

日吉出張所管内

	内容
1	防災への取組。
2	安心、安全に暮らしたいから。

4. 健康維持（3件）

区役所管内

	内容
1	医療費の削減。
2	だれでも健康が大事だから。きれいな方が気持ちよく生活できるから、防犯にもなると思う。歩道等の掃除。

日吉出張所管内

	内容
1	心身ともに健康でありたいから。

5. 時間に余裕があるから（1件）

日吉出張所管内

	内容
1	特になにもしていないから。

6. 身近で関心・興味がある（7件）

区役所管内

	内容
1	興味がある内容であれば参加したいです。子どもがいるため、関係するものは特に興味があります。
2	楽しそうだから。気軽にできそうだから。
3	知識、興味を活かしたい。
4	この程度なら出来そう。

日吉出張所管内

	内容
1	自分の興味のあることに関して参加し、楽しみながらやりたい。（2件）
2	地域の親睦。15才以下の交通事故減少。災害時の地元協力。
3	活動の内容がイメージできるため。

7. 仕事をしていてかいは資格があるから（3件）

区役所管内

	内容
1	現在、それに関わる仕事をしている為、少しは役に立つ事ができるかもしれないので。
2	自分自身が子育て中であり、児童指導員の職に就いているので、子育てや障害児に関する活動で何か役に立てることがあればやりたいと思っています。また音楽を専門としているので、それを活かして文化や芸術に関する活動に参加できたらと思います。
3	ホームヘルパーとして仕事をしているため。

8. 街の美化のため（3件）

区役所管内

	内容
1	特定の者により公園が汚されているが、何ら権限がないので注意ができない。「活動」していることが明示される認証タグでもあれば注意がしやすくなる。

日吉出張所管内

	内容
1	地域に顔見知りを増やす。ポイ捨てで汚い街路が気になる。どうにかしたい。
2	町が、ごみにあふれている。落葉が多い。

9. 時間に余裕がなく、できない（3件）

区役所管内

	内容
1	今は仕事・子育てで手いっぱいなため。
2	まだ現役で働いている為。
3	親の介護で手一杯だから。

10. 病気・高齢だからできない（2件）

区役所管内

	内容
1	高齢で体力に自信がない。

日吉出張所管内

	内容
1	自分が大きな病気から復帰したから。

11. 参加する気はあるが方法がわからない（1件）

区役所管内

	内容
1	現在の自分に何ができるかわからない。自信がないから。

12. その他（15件）

区役所管内

	内容
1	参加することのメソッド、活動したことで何かが変わるような気がしないため。
2	ラジオ体操。
3	人づきあいが面倒・・・元々下手、苦手・・・。
4	交流が目的の集まりは問題が生じやすい。
5	隣近所（並び）の殆ど（自分も含めて）が65歳以上の高齢者で足の不自由な人もいる。災害時の避難も難しいと感じる。
6	家族の介護が続いたので少しゆっくりしたい。
7	常に人とのつき合いがない。
8	自身が高齢なので周りの方々に迷惑をかけたくないので健康面や生活の事は自分で処理できるようにしたい。
9	活動の中で自分の役割がはっきりしていればやりやすいため。
10	子育てしながら無理せず活動できるから（PTAで忙しい）。

日吉出張所管内

	内容
1	町内会での決められた清掃には参加していますが、元々人づきあいが得意ではないので、他の事とかは参加したくない。
2	子育ての大変さ、むずかしさ、孫をみてより子どもがかわいい、かわいさがわかりました。ただ1個人では何もできません。
3	特別な理由はない。
4	初参加や知らない人でも参加しやすそうだから。
5	仕事が今後どうなるかわからない。

(3) 『地域包括ケアシステム』の取組等に対する意見・要望

『地域包括ケアシステム』の取組等に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『地域包括ケアシステムの取組等』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. システムや取組の周知が必要 (内容を知らない・わからない)	5
2. 市への意見・要望	4
3. 地域住民とのつながりについて	2
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組み	1
5. 今自分ができないことがない	4
6. 健康について	0
7. 取組の提案	4
8. 取組への期待について	2
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	0
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	0
13. 医療について	0
14. その他	8

1. システムや取組の周知が必要 (内容を知らない・わからない) (5件)

区役所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	今回、初めて知りました。情報がもう少し、市民に浸透する様な取組みがあれば良いと思います。
2	45～49 歳	どちらも初耳な言葉でしたし、となりの友人にも聞きましたが知らないとの事。興味はあります。情報を発信していただいて、内容がわかるようにしてもらいたい。
3	55～59 歳	取組について、あまり知らないなので、もっとチラシやホームページなどネットを活用した方が良いと思います。
4	55～59 歳	そういったシステムを利用することが必要になった場合に、まずどこに相談したらよいのかを周知してほしい。そして、たらい回し的ではなくそれぞれの部署において協力しあい、連携したつながりであってほしい。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	全く知らなかった。

2. 市への意見・要望（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	75歳以上	集合住宅居住者ですが同棟居住者の方の顔も名前も知らない事が多いです。最近では救急車の出動も頻繁ですし、独居の高齢者の方が孤独死されていた事もありました。高齢者が多く居住する集合住宅のケアの件考慮いただければと思います。
2	75歳以上	このアンケートに関して、回答しようと努力しましたが、質問数も多く選択肢も複雑で終わりまで読むのに疲れました。アンケートは複雑で量が多いと回答率が下がるのではないのでしょうか。地域の協力は大切だと思いますが、これで実態調査が本当の意味でできるとは思えません。困っている方がこのアンケートに回答するのは大変です。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	30～34歳	行政が主体的に取り組んでほしい。
2	40～44歳	「地域見守り」をうたっている割には、個人情報保護の壁なのか、周りには、その後の情報が伝わりづらく、モヤモヤする。発信してよかったと思うように、周りにも情報を発信すべき。

3. 地域住民とのつながり（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	70～74歳	コロナ禍で地域での活動が停滞した。個人情報の問題もあり、地域ケアをどう進めるかなかなか難しい状況です。
2	75歳以上	地域住民との話し合いを持ってほしい。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組み（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	65～69歳	内容は少し理解できたが、書面で読むだけでは足りないと思う。実際に行動してみれば分かるかも？

5. 今自分ができることがない（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	時間と生活に余裕がある人をお願いしたい。
2	45～49 歳	必要であり、活性化されると良いと思う。自分が健康でないため、協力できなくて残念。
3	60～64 歳	多分、地域に愛着はない。
4	75 歳以上	92 才なので、何の力にもなれません。

6. 健康について（0件）

7. 取組の提案（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	マンパワーよりもデジタルでできることを考えてほしい。困っている人から出向かず在宅でもコミュニティに参加できる時、したい時にさっとつながれるイメージで。年を重ねるとおっくうがる人が多いし、自分のしたい時だけの人もふえるのでそこに貴重なマンパワーはもったいないと感じる。AI 音声認識サービスなどでの対応→本当に必要な時にマンパワーでいいのではないかと思います。
2	55～59 歳	何がしたい？何をやらせたいか？ではなく、何を知らなくとも何もしなくとも目的を達成出来る仕組みを作ってほしい。今は出来ないかもしれないが守りカメラの設置など今は高額かもしれないがルール作りは出来るはず。100%を目指さずまずは出来る事から。ボランティアを使わなくとも出来る事はある。今は人力でごまかしているが人力が不用になる未来は目の前。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	地域での交流が大切な事は承知しているが、平日は仕事で追われているのでボランティア等に参加できない。これからの地域を支えていく世代として、勤労世代が孤立しないような土日や夜間のコミュニティがあると良いと思う。参加できるワークショップを設置していただきたい。
2	65～69 歳	地域住民全体が協力できるスポーツを開催（綱引き、玉入れ）⇒地区対抗運動会等。

8. 取組への期待について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	自分が普通に暮らしている、家族が介護の助けを受けながら、健康に過ごせている。これらが当然のように感じる安心はとても重要なことだと思う。それを実現させている様々な取組は今後も維持、向上させていかなければならない。そのために市民一人ひとりが自分ができることをやり、少しずつでも広げていければ良いと思う。現在、地域包括ケアシステムの取組に関係している事業者、地域ボランティア団体、行政の方々には深く御礼、感謝致します。
2	45～49 歳	絵にかいたモチにならないようにしてほしい。

9. 守秘義務について（0件）

10. 相談窓口について（0件）

11. 地域防犯・防災について（0件）

12. サービスや手続きについて（0件）

13. 医療について（0件）

14. その他（8件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	まだ子どもが小さかった時に、日中だったのですが、あやしても泣きやまず、虐待の可能性があると通報され、警察の方が自宅に来てこどもの安全確認をされたことがありました。
2	40～44 歳	川崎市としてどのようなことを具体的に行っているか。他の市と比べて日本で川崎はどの順位でその理由は？強化することで何がどう変わるのか？この実態調査を行った結果、誰が得をしたか？その変化は誰が実感できたのか？市民は、子どもたちはこのアンケート調査を行ったことで、川崎市に住み続けて良かった結果は？
3	45～49 歳	よくわからないので回答できない。
4	75 歳以上	ケアマネジャーに何とかお世話になって居ります。希望通り、相談して頂きいつも感謝して居ります。
5	75 歳以上	高齢なのでお世話にならずにいられる様に注意してます。ありがとう。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	上手くいっているのでしょうか？
2	65～69 歳	具体的な行動に結びつけるイメージがもてません。
3	65～69 歳	地域での場所がわからない点。相談内容は多岐にわたる為に逆に認知する事が問題なのか？

(4) 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

『川崎市地域福祉計画』に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	5
2. 市への意見・要望について	8
3. 地域のつながりについて	1
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	1
5. 今自分がやれることはない	2
6. 健康について	0
7. 取組の提案について	3
8. 取組への期待について	2
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	0
11. 地域防犯・防災について	1
12. サービスや手続きについて	1
13. 医療について	0
14. その他	10

1. 取組の周知について（5件）

区役所管内

	年代	内容
1	40～44歳	後期高齢者にも情報が伝わるように、ネット等のデジタルツールのみならず、アナログ（チラシポスティング等）での情報配信を行うと親切かなと思います。
2	55～59歳	市と区の違いや、内容をわかりやすく市民にお知らせいただけると良いと思います。
3	65～69歳	まだよく理解できていない。もっと分かりやすく説明してもらえれば行きたいし、町内会や、自治会などから教えてもらえると良いと思う。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	30～34歳	知らないので、わかりやすく周知してほしい。
2	40～44歳	自分で市や区のHPなどにアクセスしていけばよいのだろうが、日常に追われて現状としてはできておらず、何も知らないと実感している。PUSHでお知らせいただける仕組みがあると助かる。チラシなどは読まないことも多いので、アプリなどで・・・。

2. 市への意見・要望について（8件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	高齢化問題は重要すべき事だと認識していますが、若年層に対しての補助を考えていかなければ介護したくても出来ないのではないのでしょうか？働きたくても働けず、自宅に閉じこもりがちになってしまったり、安い低い賃金では生活もままならなく苦しくなってしまう、家庭でのトラブルを引き起こす要因になるのが心配です。
2	30～34 歳	アンケートの結果を行政活動にきちんと反映させてほしい。問 31 については学校等で学ばないかぎり知らない施設だと思うので、義務教育時に学ぶ事ができれば認知度は上がるし、興味を持ち福祉分野への就業者も増えると思う。
3	40～44 歳	アンケートは web で回答できるようにしてほしい。
4	45～49 歳	中学生までは一律で医療費を無料にしてほしい。
5	45～49 歳	市長をはじめとした行政の長が変わっても、ブレないようにお願いします。
6	65～69 歳	防災計画、福祉計画、相談窓口の相談機関等の細分化されすぎたカテゴリーがかえって混乱する。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	認可保育園にだれでも入園できるようにしてほしい。
2	30～34 歳	今、保育園に朝 7 時に預けています。小学生になったらそれができなくなるので仕事をかえるかやめるかしないといけません。朝の子どもの居場所を作ってほしいです。両親もそのころには 80 近くなり遠方で頼れません。小学 1 年生の壁をどうにかしてほしいです。土日の子育て支援センターをあけてほしいです。夫が仕事でいなくてワンオペしんどいです。仕事もしているので休みがなくてつらいです。リフレッシュのためのあずかり保育も認めてほしい（専業の人は OK なのにおかしいです）。

3. 地域のつながりについて（1件）

日吉出張所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	地域にどのように困っていらっしゃる方がおられるのか、よく理解してません。広報が必要では？

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	福祉という言葉が好きではありません。何か上からのような感じが嫌いです。もう少しポジティブっぽい名称にしてほしいです。福祉も大切ですがもっと雇用に入力してほしいと思います。豊かになれば皆余裕がでてボランティアもできるようになるかなと…。

5. 今自分がやれることはない（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	75歳以上	92才なので何の力にもなれません。
2	75歳以上	90歳近い人にこのアンケートはどうかと思う！！

6. 健康について（0件）

7. 取組の提案について（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	55～59歳	何がしたい？何をやらせたいか？ではなく、何を知らなくとも何もしなくとも目的を達成出来る仕組みを作ってほしい。今は出来ないかもしれないが守りカメラの設置など今は高額かもしれないがルール作りは出来るはず。100%を目指さずまずは出来る事から。ボランティアを使わなくとも出来る事はある。今は人力でごまかしているが人力が不用になる未来は目の前。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	65～69歳	やはり人と人が見える地域社会が基本ですよね。福祉計画もコミュニティの育てが必要なのかと思っています。幸市民館コミュニティ推進事業とコラボしませんか。携帯で出来ないでしょうか。
2	65～69歳	AI ロボットを使って、一人暮らしの熟年層の見守りを行い、民生委員の忙しさをカバーさせる（AI ロボットは、話相手になりうると考える）。

8. 取組への期待について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	70～74歳	今回は主人の介護で今も続いて居ますが助けて頂き感謝いたします。落ちつきましたら学びたいと思います。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	50～54歳	箱作りに力も入れるのもわかるが、中身が重要です。

9. 守秘義務について（0件）

10. 相談窓口について（0件）

1 1. 地域防犯・防災について（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	通学路が危ないと感じる。親の旗当番があると聞いたが、小さい子どもがいるととても負担を感じるし、場合によっては不可能だと思う。

1 2. サービスや手続きについて（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	年金生活ですので一番の心配は課税や健康、介護保険料の値上り。私達が仕事をしている時は老人へ、老人になった今は子どもへ手厚い行政になっている様と感じています。行政の言う「福祉」とはなんなのか？わかりませんし、恩恵を被った事もない。役所は訪問しないと何も教えてもらえないし、知らない事だらけ。しかし訪問したところで職員はその道プロ。理解できない事が多く面倒そうなお顔をされると「もういいです」と諦めています。

1 3. 医療について（0件）

1 4. その他（10件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	まだこどもが小さかった時に、日中だったのですが、あやしても泣きやまず、虐待の可能性があると通報され、警察の方が自宅に来てこどもの安全確認をされたことがありました。
2	35～39 歳	今回、アンケートに解答するに当たり、考える良いきっかけとなった。知識として何も知らず考えていなかったが、考えるとどうしたい、どうあって欲しいということがあると自覚する。今後は、情報を得て、考えて、実行する流れを意識していきたい。小さい頃は学校等で情報に触れる機会があったと思うが、考える力が弱く、大きくなるにつれ情報の選択で興味深い事柄ばかりに触れるようになり、考えることがなくなってしまった。福祉を医学のように専門的に捉えるのではなく、生活として身近に感じ、考えられるような意識が大事だと思う。老若男女それぞれがそのような意識になるにはどのような環境、取組が必要か考えていきたい。
3	40～44 歳	いつ誰が責任をもってアンケートに対してお礼をするのか？教えて下さい。
4	50～54 歳	特にないがお年寄りや、やってもらえてあたりまえと言う考えの人もある。動けるうちは自分でやって欲しい。そう自分も思っていて行動しています。子どもに迷惑だけはかけない様、心がけです。
5	55～59 歳	大規模市営介護施設。知識のないボランティアに関わりたくない。資格取得の推進活動。

	年代	内容
6	70～74 歳	余談ですが、最近は見かけませんが川崎駅付近に長年女性が一人、荷物を置き、姿が見えないので安心していると別の場所へ。又、ガード下でずっと横になって手が出ているので人にまちがいないのですが、寝ているのか、死んでいるのか、この様な方はすでに何人かの方がどこかへ通報されているようですが、そのままのようです。福祉って何でしょう。
7	75 歳以上	別にないです。年寄りには難しすぎてあまりよくわかりませんでした。代理人が記入。

日吉出張所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	アンケート対象者となる本人は知的障がいを負っており、保護者が代りに回答しましたが、“本人にとって”の考えから回答しておりますが、一部保護者の視点からの回答となっております。
2	65～69 歳	私昔から喘息あり。
3	65～69 歳	地域での場所がわからない点。相談内容は多岐にわたる為に逆に認知する事が問題なのか？

資料

アンケート調査票

地域の生活課題に関する調査

みなさまには、日頃から川崎市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、本市では『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに向け、市民や団体活動を行っている方々の（意識）調査を実施しております。

この（意識）調査は、『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに関わる調査の一つとして、無作為に選ばせていただきました市内在住の18歳以上の方を対象に、地域における生活課題などについての意識やご意見、ご要望をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 川崎市長 福田 紀彦

【記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、最初から順番にお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
5. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月16日（金）まで**にポストに投函してください。

※外国人の方で日本語を読むことが困難な方におかれましては、ルビ付きの調査票をご準備しておりますので、必要な方はご連絡ください。また、川崎市国際交流センターで相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

【調査結果の公表】

この調査の結果は、地域福祉実態調査概況のうち「地域の生活課題に関する調査概況」として、川崎市ホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/>）に掲載します。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、お問い合わせください。

■問い合わせ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当

電話番号：044-200-2626（直通）

FAX：044-200-3926

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp

問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| 1. 祖父母 | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. 配偶者 | 5. 兄弟姉妹 | 6. 子 |
| 7. 孫 | 8. その他親族 | 9. いない(一人暮らし) |
| 10. その他() | | |

問8 一緒に暮らしているご家族(あなたを含む)のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 同居している65歳以上の方がいる |
| 2. 同居している要介護認定を受けている方がいる |
| 3. 同居している障害者手帳(身体・療育・精神保健福祉)の交付を受けている方がいる |
| 4. 同居している小学校就学前の子どもがいる |
| 5. 同居している小学生の子どもがいる |
| 6. 同居している中学生以上の18歳未満の子どもがいる |
| 7. 家に引きこもりがちな方がいる |
| 8. いずれにも該当する家族がいない |

問8-1 同居していないご家族を含め、ご家族のうち、以下の項目に該当する方は、いらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 同居していない65歳以上の方がいる |
| 2. 同居していない要介護認定を受けている方がいる |
| 3. 同居していない障害者手帳(身体・療育・精神保健福祉)の交付を受けている方がいる |
| 4. 上記1~3以外で、同居していない家族の中に気に懸かる方がいる
() |
| 5. いずれにも該当する家族がいない |

【「川崎市地域福祉計画」についておたずねします】

川崎市では、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築をめざして、令和3年3月に「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせるふるさとづくり」を基本理念とする『第6期川崎市地域福祉計画』及び7つの区で『区地域福祉計画』を策定しました。

地域福祉計画は、それぞれの生活の拠点である地域において、共に生きるまちづくりの精神を発揮して、市民と行政がともに地域社会の生活課題の解決に取り組むことにより、誰もが安心していきいきと健やかに暮らせるような地域社会をつくることを目的としています。

また、“地域福祉”とは、こうした地域社会をつくりあげていくための市民や行政の取組と言えます。

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。(○は1つだけ)

1. 市の計画、区の計画の両方を知っている
2. 区の計画は知らないが、市の計画は知っている
3. 市の計画は知らないが、区の計画は知っている
4. 市の計画も区の計画も知らない ⇒問 13 へ

問 12 で「1～3」と答えた方にお聞きします。

問 12-1 計画は何で知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市政だより
2. 市や区のホームページ
3. チラシ・パンフレット
4. 市や区の計画での取り組みに参加した
5. 団体等の会合
6. 交流会・ワークショップ
7. シンポジウム
8. 講演・講習会
9. 口コミ(友人・知人や近隣の方からの)
10. その他()

【あなたがお住まいの地域についておたずねします】

問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(○は1つだけ)

1. 両隣
2. 向こう三軒両隣程度
3. 同じ集合住宅(アパート、マンションなど)
4. 歩いて5分(およそ100m)以内程度
5. 歩いて10分(およそ200m)以内程度
6. その他()

問 14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 家族のように親しくつきあっている | |
| 2. 電話、メールなども含めて、親しく話をする | |
| 3. ときどき話をする程度 | 4. あいさつをする程度 |
| 5. ほとんどつきあいが無い | 6. その他 () |

問 15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ |
| 2. いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい |
| 3. 困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない |
| 4. 地域での助け合いは必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切だ |
| 5. 地域との交流より、気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい |
| 6. 困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日頃の交流は必要ない |
| 7. その他 () |

問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 加入している ⇒ 問 17 へ |
| 2. 加入していたが、退会した・加入したことはない |

問 16-1 現在加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 行事に参加できない | 2. きっかけが無い |
| 3. 特に不便を感じない・必要性を感じない | |
| 4. 集合住宅の管理組合に加入している | |
| 5. 仕事、子育て、介護等が忙しくて時間がない | |
| 6. 地域のつきあいがわずらわしい | 7. 会費に見合うメリットがない |
| 8. 加入の仕方がわからない | 9. 面倒だから |
| 10. 関心がない | 11. その他 () |

問 17 あなたは、助け合いをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。
(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 隣近所程度 | 2. 町内会・自治会程度 |
| 3. 小学校区程度 | 4. 中学校区程度 |
| 5. お住まいの区内程度 | 6. 川崎市内程度 |
| 7. それ以上 | 8. その他 () |

問 18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 健康づくりに関する問題 (ストレス、食育、生活習慣病など) |
| 2. 高齢者に関する問題 (介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど) |
| 3. 障害児・者に関する問題 (地域生活支援、権利擁護、活動支援、障害に対する理解など) |
| 4. 子どもに関する問題 (育児不安、児童虐待、ヤングケアラー、子育て支援、教育、しつけ、遊び場づくりなど) |
| 5. 地域防犯・防災に関する問題 (交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など) |
| 6. 地域のつながりに関する問題 (近所づきあい、新型コロナウイルスなど新興感染症による対面での交流、人と人との関係が希薄など) |
| 7. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題 |
| 8. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題 |
| 9. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない (足りない) という問題 |
| 10. 地域での活動・資源に関する問題 (買い物、移動、食事など) |
| 11. その他 () |
| 12. 特に問題だと感じていることはない ⇒問 19 へ |

問 18-1 その問題は、具体的にどのようなことですか。身近な事例などがあれば教えてください。

問 19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない |
| 2. 介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない |
| 3. 経済的に生活できるか不安である |
| 4. 病気になったときに頼れる人が身近にいない |

5. 子育てがうまくできるか不安である
6. その他（

）

問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 身近でいつでも相談できるところがあること
2. 保健や福祉のサービスの利用料が低額であること
3. 保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること
4. 緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること
5. 利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること
6. 保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること
7. 保健や福祉のサービスの質を評価した情報があること
8. その他（
9. 特に何も必要だとは思わない

）

問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 同居している家族
2. 友人・知人
3. 離れて暮らしている家族
4. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）の職員
5. かかりつけの医療機関
6. 近所の人
7. 福祉施設やサービス提供事業所の職員
8. 地域包括支援センター等専門相談機関
9. 民生委員児童委員
10. 社会福祉協議会
11. 民間の相談機関（電話相談を含む）
12. インターネット
13. その他（
14. 相談する人はいるが、誰にも相談しない
15. 相談する人がいない

）

問 22 あなたには、友人と呼べる人がいますか。（○は1つだけ）

1. いる

2. いない

⇒問 23 へ

問 22 で「1. いる」と答えた方にお聞きします。

問 22-1 何人くらいいますか。

人

問 22-2 その中で、実際に会ったことのないインターネット上の友人はいますか。

(○は1つだけ)

1. いる

2. いない

問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。(○は3つまで)

1. 親族

2. 友人・知人

3. 近所の人

4. 民生委員児童委員

5. 社会福祉協議会

6. 地域の活動団体

7. NPO等の民間団体

8. 区役所・市役所

9. 地域の医療機関

10. ケアマネジャーやホームヘルパー等

11. その他 ()

12. 誰もいない

13. 頼みたくない

問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(○は3つまで)

1. 安否確認の見守り・声かけ

2. 趣味など世間話の相手

3. 子育て・介護などの相談相手

4. 炊事・洗濯・掃除などの家事

5. 草むしり、冷蔵庫内の整理

6. ちょっとした買い物

7. 子どもの預かり

8. 外出の付き添い

9. 災害時の手助け

10. ごみ出し・雨戸の開け閉め

11. 電池交換や簡単な大工仕事

12. その他 ()

13. 特にない

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(○は3つまで)

1. 安否確認の見守り・声かけ

2. 趣味など世間話の相手

3. 子育て・介護などの相談相手

4. 炊事・洗濯・掃除などの家事

5. 草むしり、冷蔵庫内の整理

6. ちょっとした買い物

7. 子どもの預かり

8. 外出の付き添い

9. 災害時の手助け

10. ごみ出し・雨戸の開け閉め

11. 電池交換や簡単な大工仕事

12. その他 ()

13. 特にない

問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

1. 現在、在宅で療養している
2. 在宅で療養したいし、おそらく可能である
3. 在宅で療養したいが、おそらく不可能である
4. おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない
5. おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない
6. その他（)

問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

1. 意思表示の書面は必要であり、すでに作成している
2. 意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない
3. 意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている
4. 意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある
5. 意思表示の書面は必要ないし、家族で話し合う必要もない
6. すべて家族にまかせるので必要ない
7. すべて医療者や病院にまかせるので必要ない
8. その他（)

問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）

1. 地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組
2. 電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組
3. 民生委員児童委員による見守りの取組
4. ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認
5. 定期的な電話や傾聴等の話し相手
6. 会食会、コミュニティ・カフェ、サロンなどを催し、地域交流を深める取組
7. 地域包括支援センター等による生活実態の把握
8. 弁当の配食時に安否確認する取組
9. 児童の登下校時の見守りの取組
10. 身近な地域で開催される運動や体操などの取組
11. その他（)
12. 特にない
13. わからない

問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

1. すでに制度を利用している
2. おおむね制度について知っている
3. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない
4. 知らない ⇒問30へ

問 26 で「1～3」と答えた方にお聞きします。

問 29-1 制度の相談窓口となっている機関で知っているものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)
2. あんしんセンター(成年後見支援センター)
3. 地域包括支援センター
4. 障害者相談支援センター
5. その他()

【地域活動やボランティア活動についておたずねします】

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化(ゴミ拾いなどを含む)に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動
13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動
14. オンラインでの活動
15. その他()
16. 今は参加していないが条件が整えば参加したい ⇒問30-2から問30-5へ
17. 参加したことがない ⇒問30-6へ

「1」～「15」に○をつけた方は、問30-1へ進む

問 30-1 活動に参加した動機やきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人の役に立ちたいから
2. 自分たちのために必要な活動だから
3. 家族・友人・知人から誘われたから
4. 学校の授業などで機会があったから
5. 困っている人や団体から頼まれたから
6. 余暇を有効に活用したいから
7. 趣味や特技を活かしたいから
8. 楽しそうだから
9. つきあいのため、やむを得ず
10. その他 ()
11. なんとなく

問 30-2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化(ごみ拾いなどを含む)に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動
13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動
14. オンラインでも参加可能な活動
15. その他 ()
16. 具体的にはわからない

問 30-3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問 30-4 参加される場合、活動可能な日数はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1~2回 | 3. 月2~3回 |
| 4. 月1回 | 5. 月1回未満 | |

問 30-5 オンラインでの活動も含めて、参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 平日日中（10~17時）2時間以内 | 2. 平日日中（10~17時）4時間以内 |
| 3. 平日日中（10~17時）6時間以内 | 4. 平日夜間（17~20時） |
| 5. 休日日中（10~17時）2時間以内 | 6. 休日日中（10~17時）4時間以内 |
| 7. 休日日中（10~17時）6時間以内 | 8. 休日夜間（17~20時） |

問 30-6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない |
| 2. きっかけがつかめない |
| 3. 身近に活動グループや仲間がない（知らない） |
| 4. 健康に自信がない |
| 5. 家族や職場の理解が得られない |
| 6. 興味を持てる活動がない |
| 7. 育児や介護を必要とする家族がいる |
| 8. 一度は始めると拘束されてしまう |
| 9. 行政や事業者が行えばよい |
| 10. 人と接するのが苦手 |
| 11. 地域活動やボランティア活動はしたくない |
| 12. その他（) |
| 13. 特に理由はない |

問 30-7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 活動する時間ができれば |
| 2. オンライン等を活用した活動であれば |
| 3. きっかけがあれば |
| 4. 身近に活動グループや仲間がいれば |
| 5. 体力や健康に自信があれば |
| 6. 家族や職場の理解が得られれば |
| 7. 興味を持てる活動があれば |
| 8. ボランティア活動に参加していることが評価されるようになれば |
| 9. その他（) |
| 10. 地域活動やボランティア活動はしたくない |

【保健・福祉に関することについておたずねします】

問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。（○はそれぞれ1つだけ）

	1 知っている	2 知らない
ア. 社会福祉協議会	1	2
イ. 民生委員児童委員	1	2
ウ. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）	1	2
エ. 地域包括支援センター	1	2
オ. あんしんセンター（成年後見支援センター）	1	2
カ. 老人クラブ	1	2
キ. いきいきセンター（老人福祉センター）	1	2
ク. いこいの家（老人いこいの家）	1	2
ケ. 障害者相談支援センター	1	2
コ. 地域療育センター	1	2
サ. 地域リハビリテーションセンター	1	2
シ. 聴覚障害者情報文化センター	1	2
ス. 視覚障害者情報文化センター	1	2
セ. 児童相談所	1	2
ソ. 地域子育て支援センター	1	2
タ. こども文化センター	1	2
チ. 福祉パル（区社会福祉協議会）	1	2
ツ. 総合福祉センター（エポックなかはら）	1	2

【防災に対する意識と備えについておたずねします】

問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 防災グッズの準備、食料や水の備蓄など
2. 携帯トイレ（簡易トイレ）を備えておくこと
3. 停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）
4. 近くの学校や公園などの避難場所の確認
5. 緊急時における家族との連絡方法の確認
6. 学校や勤め先からの帰宅ルートの確認
7. 子どもや高齢者などの世話を誰かに頼む
8. 警戒レベル（5段階）などの防災情報の意味を知っておくこと
9. その他（）
10. 特にない

問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 近所の人と挨拶をする程度の関係をつくっておくこと
2. 避難するのに支援が必要な人を把握しておくこと
3. 住民同士で家族構成・要介護度などについてある程度知っておくこと
4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
5. ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
6. 地域の避難所を知っておくこと
7. 地域で主体的に防災につながる活動を行うこと
8. 防災訓練に参加すること
9. ボランティア活動への参加
10. わからない
11. その他（）

問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 川崎市地域防災計画 | 2. 各区地域防災計画 |
| 3. 地区ごとに作成している防災計画 | 4. 災害時要援護者避難制度 |
| 5. 川崎市防災マップ | 6. 土砂災害ハザードマップ |
| 7. 福祉避難所 | 8. 防災啓発冊子「備える。かわさき」 |
| 9. 川崎市防災ポータルサイト | 10. 自主防災組織 |
| 11. マイタイムライン | 12. 川崎市災害ボランティアセンター |
| 13. すべて知らない | |

【今後の地域福祉の推進についておたずねします】

問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること
2. 地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと
3. 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること
4. 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること
5. 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと
6. その他（ ）
7. 特に取り組むべきことはない

問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握
2. 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり
3. ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成
4. 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示
5. サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実
6. ワークショップや地域交流会などによる地域の課題等を共有する場・機会の提供
7. 地域の自主的活動と行政サービスの連携強化
8. その他（ ）

問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座
2. ワークショップやKJ法※など会議の方法や進め方が学べる講座
3. 地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座
4. アンケート調査や聞き取り調査などさまざまな調査技術が学べる講座
5. 支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座
6. 活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座
7. 障害者が困っていることを疑似体験を通して学べる講座
8. 先進的な取り組み事例が学べる講座
9. その他（ ）
10. 特にない

※KJ法：データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて図解し、情報や課題を整理していく方法

問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。（○は1つだけ）

※「地域包括ケアシステム」とは…

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、住まい、医療、介護、予防、福祉・生活支援が切れ目なく、一体的に提供される仕組と地域づくりの取組のことです。この取組を進めるには、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体でそれぞれが適切な役割分担により、取り組むことが大切です。

1. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している⇒問45へ
2. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない⇒問45へ
3. 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない
4. 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない
5. 地域包括ケアシステムを聞いたことがない

「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」と答えた方にお聞きします。

問 44-1 地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。（○は1つだけ）

1. 定期的に行っている（具体的に： _____）
2. たまに行っている（具体的に： _____）
3. 行っていないが、機会があれば行いたい
4. 行っていないし、関心もない

問 45 「地域包括ケアシステム」の取組等について、御意見があればお書きください。

問 46 最後に、『川崎市地域福祉計画』または『区地域福祉計画』に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

第6回川崎市地域福祉実態調査 結果概要（幸区版）

令和5年3月発行

発行 川崎市

編集 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044-200-2626（直通） FAX 044-200-3926

E-mail 40keasui@city.kawasaki.jp
